

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構  
平成27年度に係る業務の実績に関する評価結果

平成28年8月

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構評価委員会

目 次

1	評価対象法人の概要	1
2	評価の実施根拠法	1
3	評価の対象	1
4	評価の趣旨及び評価者	2
5	評価方法の概要	2
	（1）評価基準	2
	（2）評価の手法	2
6	評価結果	3
	（1）総合的な評定	3
	（2）年度計画の各項目ごとの評定	4
	1. 診療計画及び診療に関する重点事項	4
	2. 人員配置の弾力的運用	5
	3. 施設整備及び医療機器等の整備計画	5
	4. 患者数の見込みと収支計画	6
	5. その他業務運営に関する事項	7
	（3）地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構に対する勧告等	7
	地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構平成27年度業務実績に関する評価基準	8
	参考資料 平成27年度実績に関する評価（項目別評価シート）	9

## 1 評価対象法人の概要

- (1) 法人名等
- |     |                     |
|-----|---------------------|
| 名 称 | 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 |
| 代 表 | 理事長 栗谷 義樹           |
| 住 所 | 山形県酒田市あきほ町30番地      |
- (2) 設立年月日 平成20年4月1日
- (3) 設立団体 山形県及び酒田市
- (4) 資本金の額 13,456,376,678円(平成27年10月1日変更登記時)
- (5) 中期目標の期間 平成24年度から平成27年度(4年間)
- (6) 目的及び業務

### ア 目 的

地方独立行政法人法に基づき、医療の提供、医療に関する調査及び研究等を行うことにより、庄内地域等の医療政策として求められる高度専門医療を提供し、及び当該地域における医療水準の向上を図り、もって住民の健康の維持及び増進に寄与することを目的とする。

### イ 業 務

- ① 医療の提供に関すること。
- ② 医療に関する調査及び研究に関すること。
- ③ 医療に関する技術者の研修に関すること。
- ④ 医療に関する地域への支援に関すること。
- ⑤ 災害時における医療救護に関すること。
- ⑥ 前各号に掲げる業務に附帯する業務に関すること。

## 2 評価の実施根拠法

地方独立行政法人法(平成15年法律第118号)第28条

## 3 評価の対象

平成27年度における地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構の年度計画に対する実績の状況

※年度計画・・・中期計画に基づき、当該年度における業務運営に関する計画を定めたもの

#### 4 評価の趣旨及び評価者

##### (1) 評価の趣旨

地方独立行政法人法の規定に基づき、地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構（以下「病院機構」という。）が、庄内地域における中核病院である日本海総合病院及び日本海総合病院酒田医療センターの運営を行うにあたり、住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上、業務運営の効率化等について自主的、継続的な見直し及び改善を促すことを目的に、地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構評価委員会（以下「評価委員会」という。）が業務の実績評価を行う。

##### (2) 評価委員会

役 職	氏 名	職 名 等
委員 長	嘉 山 孝 正	山形大学医学部参与 山形大学医学部先進がん医学講座 特任教授
副委員 長	大 内 憲 明	東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座 腫瘍外科学分野教授 東北大学リサーチプロフェッサー
委 員	堀 千 秋	酒田市地域包括支援センターほくぶセンター長
委 員	佐 藤 正 一	日本公認会計士協会山形県会
委 員	本 間 清 和	山形県医師会（前酒田地区医師会長）
委 員	吉 川 哲 央	酒田商工会議所副会頭 （東北東ソー化学株式会社 代表取締役社長）

（委員名順：順不同）

#### 5 評価方法の概要

##### (1) 評価基準

病院機構平成27年度業務実績に関する評価基準。（別紙のとおり）

##### (2) 評価の手法

病院機構の自己評価結果を含めて聴取し、これをもとに評価する。

## 6 評価結果

### (1) 総合的な評定

評価委員会は、病院機構より提出された、平成27年度計画に係る事業報告書及び評価基準により自己評定した結果について、適正な評価であると認め、総合的には「非常に優れている」ものとして評価する。

平成27年度は、病院機構設立後8年度目、第2期中期目標期間の最終年の4年目となる。

日本海総合病院については、救命救急センターや地域医療支援病院などの指定を受ける地域の中核病院として、専門医の配置と、高度医療機器などの更新・整備により、救急医療、がん医療等の機能を十分に発揮した安全で高度かつ専門的な急性期医療が提供されている。酒田医療センターについては、理学療法士等の増員により回復期リハビリテーションが充実され、地域ニーズに応じた回復期・慢性期医療の提供がなされている。

病院機構が統合再編・法人化により進めてきた、日本海総合病院における急性期、高度専門医療等、酒田医療センターにおける回復期・慢性期といった機能分担が一層進められ、ITネットワークの活用などによる地域の医療機関をはじめ保健・福祉・介護の各機関との連携が強化されたことにより、優秀な医療実績と効果的な業務運営が行われている。

職員配置、就労環境の整備については、医療クラークや看護補助者等の配置増、認定看護師等の適所配置、院内保育所の24時間保育、病児・病後児保育の継続、病棟看護師の負担軽減を目的とする二交代制勤務の試行など、優れたスタッフの確保と業務負担軽減に積極的に取り組んでいる。特に、医療人材の確保・育成について、臨床研修医、レジデント及びスチューデントドクターを受け入れ、医師育成及び医学生の教育に努めている。

財務内容については、日本海総合病院では、延入院患者数の増加と25対1急性期看護補助体制加算、総合入院体制加算2の年間算定に加え総合評価加算を新たに届出たことによる入院診療単価の増加、延外来患者数の増加と外来化学療法による治療件数の増加、C型肝炎治療新薬の導入及び外来放射線治療に関わる加算の届出による外来診療単価の増加などにより黒字決算となっている。また、酒田医療センターでは、延入院患者数の増加と休日リハビリテーション提供加算の届出などにより営業収益が改善されている。病院機構全体として、設立初年度より8年間連続して黒字決算を計上し、中期計画の目標である経常収支比率100%以上が引き続き達成され、効率的な運営が行われている。

以上、平成27年度計画における業務の実績は、引き続き良好であり、病院機構の業務運営に対する努力について、評価委員会としては非常に高く評価するものである。

評価した項目

総項目数

84項目 【評価 S：13、A：69、B：2】

## (2) 年度計画の各項目ごとの評定

### 1. 診療計画及び診療に関する重点事項

#### ア 評定

年度計画に対する実績は、計画を上回っている。

#### イ 理由

日本海総合病院と酒田医療センター、2病院の医療機能の分担により、将来にわたり持続可能な経営に向けて、効率的で効果的な業務運営が行われている。業務実績についてもきわめて良好であり、地域の中核病院として地域医療水準の向上が図られている。

#### ウ 評価した項目

##### ① 項目数

68項目 【評価 S：10、A：57、B：1】

##### ② 特筆すべき項目

- ・ 紹介率、逆紹介率が非常に高く、地域医療支援病院として、他の地域医療機関との役割分担及び連携強化が図られ、急性期医療を担う中核病院の役割を果たしている。
- ・ 酒田地区医師会と協力連携し平日夜間救急外来の診療体制が確保されており、地域の救急医療の充実が図られている。
- ・ 地域がん診療連携拠点病院としての機能充実を図るため「がん患者リハビリテーション」が導入され、緩和ケア、がん相談支援体制が充実され、PET-CTの検査件数が増加するなど、がん治療の強化が図られている。
- ・ 休日リハビリテーション提供体制が整備され、患者のQOLの向上と早期の在宅復帰が図られている。
- ・ 山形大学医学部や東北大学医学部と協力連携し、臨床研修医、レジデント、スチューデントドクター等を受け入れ、医学生の教育、医師育成のほか、医療従事者の育成に継続して取り組んでいる。
- ・ 医師以外の医療スタッフ及び事務職員の人材育成の向上が図られている。

- ・ 認定看護師の資格取得のため看護師を研修に派遣する等、専門知識の習得と技能向上が図られ、より質の高い看護が提供されている。
- ・ 地域医療小児医療センターとして、地域の小児科医と日本海総合病院の小児科医が協力して、小児救急医療体制の確保が図られている。
- ・ 酒田市立酒田看護専門学校の実習施設として役割を担い、実習指導を務めるなど、地域の医療水準の向上へ貢献している。

## 2. 人員配置の弾力的運用

### ア 評 定

年度計画に対する実績は、計画を上回っている。

### イ 理 由

医師、看護師の負担軽減のため、医療クランク、看護補助者、事務補助者を増員し、人員配置の弾力的な運用が図られている。

### ウ 評価した項目

#### ① 項目数

4項目 【評価 A : 4】

#### ② 特筆すべき項目

- ・ 病棟看護師の負担軽減を目的とする二交代制勤務の試行が行われている。

## 3. 施設整備及び医療機器等の整備計画

### ア 評 定

年度計画に対する実績は、計画を上回っている。

イ 理由

総合的な費用対効果を検討し、高度医療機器等の更新・整備が行われている。

ウ 評価した項目

① 項目数

2項目 【評価 A : 2】

② 特筆すべき項目

- ・ 採血採尿受付システムの導入による検査待ち時間の短縮

4. 患者数の見込みと収支計画

ア 評定

年度計画に対する実績は、計画を上回っている。

イ 理由

病院機構全体では、延入院患者数、延外来患者数ともには増加し、新たな加算の届出、入院、外来診療単価の増加により黒字決算を計上し、病院機構設立以来8期連続して純利益を計上している。経常収支比率100%以上を達成するなど、財務内容についてもきわめて良好である。

ウ 評価した項目

① 項目数

1項目 【評価 S : 1】

② 特筆すべき項目

- ・ 単年度収支において黒字を計上、営業利益でも引き続き黒字を計上している。
- ・ 経常収支比率104.4%を達成している。



5. その他業務運営に関する事項

ア 評 定

年度計画に対する実績は、計画を上回っている。

イ 理 由

院内保育所などの就労環境の整備、人間ドック機能の継続、酒田市飛島診療所への支援、看護師等修学資金貸与制度の継続などが行われている。

ウ 評価した項目

① 項目数

9項目【評価 S：2、A：6、B：1】

② 特筆すべき項目

- ・ 日本海総合病院救命救急センターと酒田市飛島診療所、ドクターヘリとの連携により、スムーズな救急患者の対応が図られている。
- ・ 人間ドックを酒田市のふるさと納税の特典にすることによりPET/CTの稼働率の向上に寄与した。

(3) 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構に対する勧告等

な し

## 【別紙】

### 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構平成27年度業務実績に関する評価基準

#### 1 平成27年度業務の実績に関する評価の基本方針

平成27年度地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構年度計画について、その実施状況を調査・分析し、業務の実績について評価を行なう。

#### 2 業務の実績に関する評価の方法

計画に掲げた項目ごとに行なう「項目別評価」と「業務実績全体の状況について行なう全体評価」の2つを併せて行なうものとする。

##### (1) 項目別評価 項目別評価シート

項目別評価は、年度計画の個別項目毎の進捗状況について、下記により評価するものとする。

##### ① 業務の実施状況を幅広く把握し、可能な限り客観的な評価の実施に努める。

- ・目標数値がある場合はその達成度合い、定性的な目標の場合は具体的な業務実績を把握し評価する
- ・業務実績については、その数量だけでなく、その質についても考慮する
- ・業務実績に影響を及ぼした要因、予期せぬ事情の変化等についても考慮する

##### ② 判定基準として以下の5段階で評価し、原則としてその理由を付記する

(判定基準)

「S」 : 計画を大幅に上回っている

「A」 : 計画を上回っている

「B」 : 計画に概ね合致している

「C」 : 計画をやや下回っている

「D」 : 計画を下回っており、大幅な改善が必要

##### (2) 全体評価

全体評価は、(1)の項目別評価の結果を踏まえ、全体的な計画の進行状況や達成について、記述式等により評価するものとする。

平成 27 年度実績に関する評価

( 項目別評価シート )

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成27年度・年度計画	平成27年度・年度実績	評価の視点	判定	自己評定	判定	委員会評定及び意見等														
1 診療計画及び診療に関する重点事項																				
(1) 診療計画																				
	日本海総合病院及び日本海総合病院酒田医療センター（以下「酒田医療センター」という。）は、将来にわたり持続可能な経営に向けて努力するとともに、地域医療向上のために以下のような取り組みを行った。																			
①日本海総合病院																				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療支援病院として、安全で高度かつ専門的な急性期医療を提供する。</li> <li>・他の医療機関と連携して、住民が安心できる地域の医療提供体制を構築する。</li> <li>・庄内地域で唯一の救命救急センターとして、高度な救急医療を提供する。</li> <li>・地域がん診療連携拠点病院として、充実したがん治療を提供する。</li> <li>・災害拠点病院として、被災地域の患者の受入れ、及び医療スタッフの派遣等の医療救護活動を行う。</li> <li>・へき地医療拠点病院として、へき地の住民に対する医療提供及びその支援等へき地医療活動を行う。</li> <li>・エイズ治療拠点病院として、総合的かつ高度なエイズ治療を提供する。</li> </ul>	<p>地域の中核病院として急性期医療の充実に努め、地域医療支援病院をはじめとする各種指定の病院機能を十分に発揮し、「安心、信頼、高度な医療提供」及び「保健、医療、福祉の地域連携」の基本理念に基づいた医療の提供に努めた。</p> <table border="1"> <caption>【日本海総合病院の機能】</caption> <tr> <td>許可病床数</td> <td>346床</td> </tr> <tr> <td>診療科 (27科)</td> <td>内科、循環器内科、消化器内科、内臓外科、精神科、神経内科、小児科、緩和ケア内科、外科、乳腺外科、小児外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、皮膚科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、泌尿器科、麻酔科、救急科、病理診断科</td> </tr> <tr> <td>病床の種類</td> <td>一般病床</td> </tr> <tr> <td>介護診療機能</td> <td>救命救急センター、屋上ヘリポート</td> </tr> <tr> <td>特殊診療機能</td> <td>ICU（集中治療室）、HCU（重症集中治療室） 未熟児室 感染症病床 放射線治療 外来がん化学療法 セカンドオピニオン外来 人工透析 地域医療室（地域連携・在宅療養支援など）</td> </tr> <tr> <td>救急外来機能</td> <td>診療科全館</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>病院間移動用ワゴン車、院内薬局</td> </tr> </table>	許可病床数	346床	診療科 (27科)	内科、循環器内科、消化器内科、内臓外科、精神科、神経内科、小児科、緩和ケア内科、外科、乳腺外科、小児外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、皮膚科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、泌尿器科、麻酔科、救急科、病理診断科	病床の種類	一般病床	介護診療機能	救命救急センター、屋上ヘリポート	特殊診療機能	ICU（集中治療室）、HCU（重症集中治療室） 未熟児室 感染症病床 放射線治療 外来がん化学療法 セカンドオピニオン外来 人工透析 地域医療室（地域連携・在宅療養支援など）	救急外来機能	診療科全館	その他	病院間移動用ワゴン車、院内薬局	<p>急性期医療を提供する、地域の中核病院としての役割を果たしたか。</p>	S	<p>▽平均在院日数が11.7日、救急搬送の受入れ件数が3,561件（うちヘリによる受入れが24件）、また紹介率が52.7%、逆紹介率が7.8%であり、地域における機能分化・連携が進み、庄内二次医療圏の中核的な医療機関としての役割を果たした。 ▽経営の健全性と、地域医療の確保に重要な役割を果たしていることが評価され、全国自治体病院開設者協議会及び全国自治体病院協議会の両会長表彰を受賞した。</p>	S	自己評定のとおりに
許可病床数	346床																			
診療科 (27科)	内科、循環器内科、消化器内科、内臓外科、精神科、神経内科、小児科、緩和ケア内科、外科、乳腺外科、小児外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、皮膚科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、泌尿器科、麻酔科、救急科、病理診断科																			
病床の種類	一般病床																			
介護診療機能	救命救急センター、屋上ヘリポート																			
特殊診療機能	ICU（集中治療室）、HCU（重症集中治療室） 未熟児室 感染症病床 放射線治療 外来がん化学療法 セカンドオピニオン外来 人工透析 地域医療室（地域連携・在宅療養支援など）																			
救急外来機能	診療科全館																			
その他	病院間移動用ワゴン車、院内薬局																			
②酒田医療センター																				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・状態が安定し、長期にわたり療養を必要とする患者に医療を提供し、急性期医療の後方支援及び在宅療養支援を行う。</li> <li>・ADLの向上や在宅復帰のため、集中的にリハビリテーションを行う回復期医療を提供する。</li> <li>・患者が可能な限り自宅で自立した生活ができるよう、日常生活上の支援や生活機能向上のための訓練を行う通所リハビリテーションを提供する。</li> </ul>	<p>回復期病床2病棟（79床）、療養期病床1病棟（35床）で、回復期医療及び療養医療の充実に努めた。</p> <p>理学療法士等を増員し、休日とも休むことなく、リハビリテーションを提供した。</p> <table border="1"> <caption>【酒田医療センターの機能】</caption> <tr> <td>許可病床数</td> <td>114床</td> </tr> <tr> <td>診療科 (2科)</td> <td>内科、リハビリテーション科</td> </tr> <tr> <td>病床の種類</td> <td>療養病床</td> </tr> <tr> <td>特殊診療機能</td> <td>地域医療室（地域連携・在宅療養支援など） 通所リハビリテーション（デイケア）</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>病院間移動用ワゴン車</td> </tr> </table>	許可病床数	114床	診療科 (2科)	内科、リハビリテーション科	病床の種類	療養病床	特殊診療機能	地域医療室（地域連携・在宅療養支援など） 通所リハビリテーション（デイケア）	その他	病院間移動用ワゴン車	<p>地域のニーズに応じた、リハビリテーションの充実に努めたか。</p>	A	<p>▽理学療法士等の増員による人員体制の強化、休日リハビリテーションの開始により、リハビリテーション科の延べ入院患者数が、前年比1,332名増加し24,588名となり、地域で必要としていた医療の提供と充実が図られた。</p>	A	自己評定のとおりに				
許可病床数	114床																			
診療科 (2科)	内科、リハビリテーション科																			
病床の種類	療養病床																			
特殊診療機能	地域医療室（地域連携・在宅療養支援など） 通所リハビリテーション（デイケア）																			
その他	病院間移動用ワゴン車																			

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成27年度・年度計画	平成27年度・年度実績	評価の視点	判定	自己評定	判定	委員会評定及び意見等																				
<b>(2) 診療に関する重点事項</b>																										
<b>①診療体制の整備</b>																										
	医療需要の質的・量的変化や新たな医療課題に適切に対応するため、平成27年度は次のとおり診療部門の充実を図った。																									
<b>a) 救急医療（日本海総合病院）</b>																										
・救命救急センターの充実を図るため、救急科専門医を育成する。	○救命救急センターの機能の充実を図るため、救急科専門医1名を育成した。	◇救急科専門医を育成したか。	A	▽平成28年1月に、外科の医師が一般社団法人日本救急医学会から救急科専門医として認定された。	A	自己評定のとおりに																				
・酒田地区広域行政組合の酒田救急ワークステーションとの連携強化を図るとともに、ドクターカーの配備について検討を行う。	○酒田地区広域行政組合の「酒田救急ワークステーション」との連携強化を図り、当該組合の要請によって引き続き医師及び看護師が救急車に同乗・出勤した。 【実績】救急車同乗・出勤件数 <table border="1"> <tr> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>3件</td> <td>5件</td> <td>4件</td> <td>2件</td> </tr> </table>	H24	H25	H26	H27	3件	5件	4件	2件	◇「酒田救急ワークステーション」と連携し、継続してドクターカー配備の検討を行ったか。	A	▽救急救命士就業前研修、再教育研修で救急救命士に指導助言を行うとともに、救急救命士が行った救急活動に対して、医学的観点から行う事後検証の実施や、酒田地区広域行政組合が主催する症例検討会等の各種研修会に出席し連携を図った。 ▽2件の救急車同乗出勤要請があり、医師及び看護師が救急車に同乗して出勤した。また、問題点等を把握するため、実際に出勤したケースを踏まえて、今後も継続して検討することとした。	A	自己評定のとおりに												
H24	H25	H26	H27																							
3件	5件	4件	2件																							
・一般社団法人酒田地区医師会十全堂（以下、「酒田地区医師会」という。）の協力を得て、平日夜間の成人・小児に対する診療体制を、酒田市の財政支援のもと維持する。	○より症状の重い患者に救命救急センターの医師が対応できるよう、一般社団法人酒田地区医師会十全堂（以下「酒田地区医師会」という。）の協力を得て、平日夜間救急外来（小児を含む。）を酒田市の財政支援のもと継続して行った。 【実績】救命救急センター受診状況 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>延べ患者数</td> <td>22,979名</td> <td>24,953名</td> <td>24,012名</td> <td>25,039名</td> </tr> <tr> <td>酒田地区医師会 小児（延べ）</td> <td>743名</td> <td>638名</td> <td>581名</td> <td>624名</td> </tr> <tr> <td>救急連携 成人（延べ）</td> <td>1,745名</td> <td>1,627名</td> <td>1,260名</td> <td>1,250名</td> </tr> </table>		H24	H25	H26	H27	延べ患者数	22,979名	24,953名	24,012名	25,039名	酒田地区医師会 小児（延べ）	743名	638名	581名	624名	救急連携 成人（延べ）	1,745名	1,627名	1,260名	1,250名	◇酒田地区医師会の協力を得て、救急医療の充実を図ることができたか。	A	▽酒田地区医師会の協力を得て、役割分担を行うことで、日本海総合病院の医師は症状の重い患者の診療に専念することができ、地域の救急医療の充実が図られている。	S	他に例を見ない取組みを評価する。
	H24	H25	H26	H27																						
延べ患者数	22,979名	24,953名	24,012名	25,039名																						
酒田地区医師会 小児（延べ）	743名	638名	581名	624名																						
救急連携 成人（延べ）	1,745名	1,627名	1,260名	1,250名																						
<b>b) がん医療（日本海総合病院）</b>																										
・地域がん診療連携拠点病院としての機能充実を図るため、「がん患者リハビリテーション」の導入を検討する。	○がん患者の運動器の低下や生活機能の低下予防・改善を目的として、平成27年9月からがん患者リハビリテーションを開始した。 【実績】がんリハビリテーション科 <table border="1"> <tr> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>実施患者数</td> </tr> <tr> <td>男性・女性別</td> </tr> <tr> <td>136名</td> </tr> <tr> <td>日本海総合病院</td> </tr> <tr> <td>1,784回診</td> </tr> </table>	H27	実施患者数	男性・女性別	136名	日本海総合病院	1,784回診	◇「がん患者リハビリテーション」の導入を検討したか。	S	▽「がん患者リハビリテーション」の導入について検討を行い、さらに、平成27年9月から開始したことで、地域がん診療連携拠点病院としての機能充実を図った。	S	自己評定のとおりに														
H27																										
実施患者数																										
男性・女性別																										
136名																										
日本海総合病院																										
1,784回診																										
・PET/CTによるがん治療の強化、早期発見のための検診を拡充する。	○がん診療の強化のため、山形県市町村職員互助会との検診委託契約や酒田市ふるさと納税での検診コース導入により、PET/CT検診の拡大に努めた。 【実績】PET/CT検査（検診）件数 <table border="1"> <tr> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>検査件数</td> <td>442件</td> <td>811件</td> <td>819件</td> <td>975件</td> </tr> <tr> <td>（うち検診件数）</td> <td>（222件）</td> <td>（188件）</td> <td>（112件）</td> <td>（148件）</td> </tr> </table>	H24	H25	H26	H27	検査件数	442件	811件	819件	975件	（うち検診件数）	（222件）	（188件）	（112件）	（148件）	◇検査件数が増加したか。	A	▽PET/CTの稼働率を上げるため、山形県市町村職員互助会との検診委託契約や、酒田市ふるさと納税の特典とする施策を展開し、検査件数が前年比156件増加し、年間で975件のPET/CT検査を行った。	A	自己評定のとおりに						
H24	H25	H26	H27																							
検査件数	442件	811件	819件	975件																						
（うち検診件数）	（222件）	（188件）	（112件）	（148件）																						
・手術、放射線療法及び化学療法を効果的に組み合わせた治療の実施	○手術、放射線療法及び化学療法を、効果的に組み合わせ治療を行った。 【実績】手術、放射線療法、外来化学療法の件数 <table border="1"> <tr> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>手術</td> <td>1,123件</td> <td>1,117件</td> <td>1,068件</td> <td>1,117件</td> </tr> <tr> <td>放射線療法</td> <td>7,793件</td> <td>7,028件</td> <td>6,726件</td> <td>7,950件</td> </tr> <tr> <td>外来化学療法</td> <td>3,062件</td> <td>4,922件</td> <td>3,739件</td> <td>4,037件</td> </tr> </table> ※「外来化学療法」の件数は、延べ実施件数である。	H24	H25	H26	H27	手術	1,123件	1,117件	1,068件	1,117件	放射線療法	7,793件	7,028件	6,726件	7,950件	外来化学療法	3,062件	4,922件	3,739件	4,037件	◇手術、放射線療法及び化学療法を効果的に組み合わせた治療が行われたか。	A	▽患者の状態にあった最適ながん治療を行い、手術、放射線療法、外来化学療法の件数が、全て前年実績を上回った。	A	自己評定のとおりに	
H24	H25	H26	H27																							
手術	1,123件	1,117件	1,068件	1,117件																						
放射線療法	7,793件	7,028件	6,726件	7,950件																						
外来化学療法	3,062件	4,922件	3,739件	4,037件																						
・緩和ケア医療の充実	○緩和ケア医療の充実を図るため、緩和ケア内科を新規に標榜した。 【実績】病棟門診延べ患者数、緩和ケア外来患者数 <table border="1"> <tr> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>病棟門診</td> <td>317名</td> <td>449名</td> <td>457名</td> <td>441名</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア外来</td> <td>105名</td> <td>168名</td> <td>101名</td> <td>168名</td> </tr> </table>	H24	H25	H26	H27	病棟門診	317名	449名	457名	441名	緩和ケア外来	105名	168名	101名	168名	◇緩和ケア医療の充実に取り組んだか。	A	▽緩和ケアの提供体制について、さらに充実したケアを提供するため、平成27年4月に、緩和ケア内科を新規に標榜し、緩和ケア医療の充実に取り組んだ。	A	自己評定のとおりに						
H24	H25	H26	H27																							
病棟門診	317名	449名	457名	441名																						
緩和ケア外来	105名	168名	101名	168名																						

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成27年度・年度計画	平成27年度・年度実績	評価の視点	自己評定	委員会評定及び意見等																																						
・緩和ケア病棟について、要件等の確認及び検討を行う。	○地域医療構想において、高度急性期及び急性期病院を目指す方針としたことから、緩和ケア病棟は設けずに対応することとした。	◇緩和ケア病棟の整備に向け、検討を行ったか。	判定 A	判定 A																																						
・セカンドオピニオン外来の充実	○セカンドオピニオン外来を、次のとおり行った。 【実績】実施件数 <table border="1"> <tr><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td></tr> <tr><td>4件(がん3件)</td><td>11件(がん10件)</td><td>7件(がん7件)</td><td>11件(がん7件)</td></tr> </table> ※( )は、内数である。	H24	H25	H26	H27	4件(がん3件)	11件(がん10件)	7件(がん7件)	11件(がん7件)	◇セカンドオピニオン外来の充実に取り組んだか。	A	A																														
H24	H25	H26	H27																																							
4件(がん3件)	11件(がん10件)	7件(がん7件)	11件(がん7件)																																							
・がん登録機能、相談支援体制の充実	○地域がん診療連携拠点病院として、次のとおりがん登録を行った。 【実績】がん登録件数 <table border="1"> <tr><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td></tr> <tr><td>院内がん登録 1,684件</td><td>1,705件</td><td>1,689件</td><td>1,379件</td></tr> <tr><td>地域がん登録 1,652件</td><td>1,680件</td><td>1,549件</td><td>1,339件</td></tr> </table> ○研修を修了した5名のがん相談員(看護師2名、社会福祉士3名)により相談を実施し、患者及び家族の支援を行った。 【実績】がん相談件数 <table border="1"> <tr><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td></tr> <tr><td>818件</td><td>1,204件</td><td>963件</td><td>1,041件</td></tr> </table>	H24	H25	H26	H27	院内がん登録 1,684件	1,705件	1,689件	1,379件	地域がん登録 1,652件	1,680件	1,549件	1,339件	H24	H25	H26	H27	818件	1,204件	963件	1,041件	◇地域がん診療連携拠点病院として、がん登録を行ったか。 ◇相談支援体制の充実を図ったか。	A	A																		
H24	H25	H26	H27																																							
院内がん登録 1,684件	1,705件	1,689件	1,379件																																							
地域がん登録 1,652件	1,680件	1,549件	1,339件																																							
H24	H25	H26	H27																																							
818件	1,204件	963件	1,041件																																							
<b>c) 脳卒中・急性心筋梗塞</b>																																										
・救命救急センターと関係する各診療科、リハビリテーション部門との連携強化を図り、患者の社会復帰に寄与する。	○脳卒中、急性心筋梗塞の救急搬送患者に対しては、速やかに集中治療室に転送し、迅速な救命治療の実施を図った。また、術後の速やかなリハビリテーションの開始により患者の機能回復に努めた。	◇救命救急センターにおいて、スタッフ同士の連携強化を図ったか。	A	A																																						
・CT、MRI検査の24時間対応の継続	○専門的医療やCT、MRI検査の24時間対応を継続した。 【実績】脳梗塞、くも膜下出血、脳動脈瘤、脳内出血で実施した件数 <table border="1"> <tr><td>臓器</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td></tr> <tr><td>CT</td><td>1,015件</td><td>934件</td><td>730件</td><td>726件</td></tr> <tr><td>MRI</td><td>819件</td><td>929件</td><td>844件</td><td>877件</td></tr> </table> 【実績】心筋梗塞、狭心症で実施した件数 <table border="1"> <tr><td>臓器</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td></tr> <tr><td>CT</td><td>256件</td><td>269件</td><td>391件</td><td>322件</td></tr> <tr><td>MRI</td><td>40件</td><td>31件</td><td>18件</td><td>25件</td></tr> </table>	臓器	H24	H25	H26	H27	CT	1,015件	934件	730件	726件	MRI	819件	929件	844件	877件	臓器	H24	H25	H26	H27	CT	256件	269件	391件	322件	MRI	40件	31件	18件	25件	◇継続して24時間対応を行い、その後の治療に適切に対応することができたか。	A	A								
臓器	H24	H25	H26	H27																																						
CT	1,015件	934件	730件	726件																																						
MRI	819件	929件	844件	877件																																						
臓器	H24	H25	H26	H27																																						
CT	256件	269件	391件	322件																																						
MRI	40件	31件	18件	25件																																						
・日本海総合病院における急性期リハビリテーションの充実及び酒田医療センターにおける回復期リハビリテーションとの連携強化を図る。	○日本海総合病院は急性期リハビリテーションの充実を図り、酒田医療センターの回復期リハビリテーションとの連携強化を図った。 【実績】心大血管疾患リハビリテーション科I <table border="1"> <tr><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td></tr> <tr><td>初療患者数</td><td>422名</td><td>534名</td><td>636名</td><td>698名</td></tr> <tr><td>転院・退院患者数</td><td>3,185名</td><td>12,453名</td><td>11,356名</td><td>16,770名</td></tr> </table> 【実績】脳血管疾患リハビリテーション科II <table border="1"> <tr><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td></tr> <tr><td>初療患者数</td><td>1,303名</td><td>1,509名</td><td>1,492名</td><td>1,168名</td></tr> <tr><td>転院・退院患者数</td><td>44,116名</td><td>43,958名</td><td>40,034名</td><td>46,727名</td></tr> <tr><td>酒田医療センター</td><td>242名</td><td>297名</td><td>378名</td><td>323名</td></tr> <tr><td></td><td>40,233名</td><td>43,761名</td><td>39,756名</td><td>46,404名</td></tr> </table>	H24	H25	H26	H27	初療患者数	422名	534名	636名	698名	転院・退院患者数	3,185名	12,453名	11,356名	16,770名	H24	H25	H26	H27	初療患者数	1,303名	1,509名	1,492名	1,168名	転院・退院患者数	44,116名	43,958名	40,034名	46,727名	酒田医療センター	242名	297名	378名	323名		40,233名	43,761名	39,756名	46,404名	◇急性期リハビリテーションの充実を図り、心大血管疾患リハビリテーションの患者数等が増加したか。 ◇両病院の連携のもと、酒田医療センターの脳血管疾患リハビリテーションの患者数等が増加したか。	A	A
H24	H25	H26	H27																																							
初療患者数	422名	534名	636名	698名																																						
転院・退院患者数	3,185名	12,453名	11,356名	16,770名																																						
H24	H25	H26	H27																																							
初療患者数	1,303名	1,509名	1,492名	1,168名																																						
転院・退院患者数	44,116名	43,958名	40,034名	46,727名																																						
酒田医療センター	242名	297名	378名	323名																																						
	40,233名	43,761名	39,756名	46,404名																																						
・日本海総合病院において、心大血管リハビリテーションを休日も実施する。	○患者の早期回復を図るため、日本海総合病院において休日の心大血管リハビリテーションを継続して実施した。 【実績】休日の実施件数等 ※理学療法士と作業療法士が実施した数の合算 <table border="1"> <tr><td>H26</td><td>H27</td></tr> <tr><td>延べ患者数</td><td>回数</td><td>日数</td><td>延べ患者数</td><td>回数</td><td>日数</td></tr> <tr><td>1,341名</td><td>1,571回</td><td>121日</td><td>1,467名</td><td>1,542回</td><td>123日</td></tr> </table>	H26	H27	延べ患者数	回数	日数	延べ患者数	回数	日数	1,341名	1,571回	121日	1,467名	1,542回	123日	◇心大血管リハビリテーションを休日も実施したか。	A	A																								
H26	H27																																									
延べ患者数	回数	日数	延べ患者数	回数	日数																																					
1,341名	1,571回	121日	1,467名	1,542回	123日																																					

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成27年度・年度計画	平成27年度・年度実績	評価の視点	自己評定	委員会評定及び意見等																																																														
<b>d) 糖尿病（日本海総合病院）</b>																																																																		
<p>・チーム医療による食事療法、運動療法、薬物療法等を組み合わせた集中的治療の充実を図る。</p>	<p>○チーム医療による食事療法、運動療法、薬物療法等を組み合わせた教育入院等の治療を継続して行った。</p> <p>【実績】教育入院患者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>83名</td> <td>52名</td> <td>65名</td> <td>66名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】個別栄養指導件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>230件</td> <td>252件</td> <td>300件</td> <td>298件</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>356件</td> <td>327件</td> <td>400件</td> <td>396件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>575件</td> <td>579件</td> <td>700件</td> <td>694件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○糖尿病教室を次のとおり開催した。</p> <p>【実績】開催回数、参加人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>12回</td> <td>14回</td> <td>16回</td> <td>19回</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>45名</td> <td>44名</td> <td>55名</td> <td>65名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○看護師と管理栄養士が共同で、次のとおり糖尿病透析予防指導を行った。</p> <p>【実績】糖尿病透析予防指導の実患者数、指導回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実患者数</td> <td>2名</td> <td>25名</td> <td>30名</td> <td>14名</td> </tr> <tr> <td>指導回数</td> <td>5回</td> <td>65回</td> <td>73回</td> <td>32回</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	H27	入院	83名	52名	65名	66名		H24	H25	H26	H27	入院	230件	252件	300件	298件	外来	356件	327件	400件	396件	合計	575件	579件	700件	694件		H24	H25	H26	H27	開催回数	12回	14回	16回	19回	参加人数	45名	44名	55名	65名		H24	H25	H26	H27	実患者数	2名	25名	30名	14名	指導回数	5回	65回	73回	32回	<p>◇チーム医療による糖尿病治療を行ったか。</p>	A	<p>▽血糖値コントロールのための自己注射の必要性、糖尿病による合併症併発の危険性、予防などについて、それぞれの職種が、それぞれの分野から患者にアプローチして治療を行った。</p>	A	自己評定のとおり
	H24	H25	H26	H27																																																														
入院	83名	52名	65名	66名																																																														
	H24	H25	H26	H27																																																														
入院	230件	252件	300件	298件																																																														
外来	356件	327件	400件	396件																																																														
合計	575件	579件	700件	694件																																																														
	H24	H25	H26	H27																																																														
開催回数	12回	14回	16回	19回																																																														
参加人数	45名	44名	55名	65名																																																														
	H24	H25	H26	H27																																																														
実患者数	2名	25名	30名	14名																																																														
指導回数	5回	65回	73回	32回																																																														
<b>e) 回復期リハビリテーション（酒田医療センター）</b>																																																																		
<p>・回復期リハビリテーションの充実のため、理学療法士等を増員する。</p>	<p>○回復期リハビリテーションの充実のため、理学療法士4名、作業療法士2名をそれぞれ増員し29名体制とした。</p>	<p>◇理学療法士等を増員し、リハビリテーションの充実を図ったか。</p>	A	<p>▽理学療法士4名と、作業療法士2名を増員し、回復期リハビリテーションの充実を図った。</p>	A	自己評定のとおり																																																												
<p>・早期の在宅復帰を図るため、休日もリハビリテーションを提供する体制を構築する。</p>	<p>○土・日・祝日等、休日も休むことなくリハビリテーションを提供する体制を整え、休日リハビリテーションを実施した。</p> <p>【実績】休日リハビリテーション実施状況（5月1日～）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>延患者数</th> <th>回数（単位数）</th> <th>実施日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回復期リハビリテーション</td> <td>6,749名</td> <td>17,736単位</td> <td>114日</td> </tr> </tbody> </table>		延患者数	回数（単位数）	実施日数	回復期リハビリテーション	6,749名	17,736単位	114日	<p>◇休日もリハビリテーションを提供したか。</p>	S	<p>▽土・日・祝日等、休日も休むことなくリハビリテーションを提供する体制を整え、患者のQOLの向上と早期の在宅復帰に努めた。</p>	S	技師の手当てができていることも評価する。																																																				
	延患者数	回数（単位数）	実施日数																																																															
回復期リハビリテーション	6,749名	17,736単位	114日																																																															
<p>・外来及び通所リハビリテーションの実施</p>	<p>○外来及び通所リハビリテーション（デイケア）の利用者拡大を図った。</p> <p>【実績】リハビリテーション科の延べ患者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>11,306名</td> <td>11,776名</td> <td>23,256名</td> <td>24,588名</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>284名</td> <td>302名</td> <td>534名</td> <td>559名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】リハビリテーションの実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実患者数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>回数（単位数）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>外来リハビリテーション</td> <td>9名 299回</td> <td>18名 48回</td> <td>13名 43回</td> <td>20名 62回</td> </tr> <tr> <td>通所リハビリテーション</td> <td>20名 1,040回</td> <td>20名 1,040回</td> <td>22名 1,051回</td> <td>29名 1,752回</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「通所リハビリテーション」の「回数（単位数）」は、利用者の通所回数である。</p>		H24	H25	H26	H27	入院	11,306名	11,776名	23,256名	24,588名	外来	284名	302名	534名	559名		H24	H25	H26	H27	実患者数					回数（単位数）					外来リハビリテーション	9名 299回	18名 48回	13名 43回	20名 62回	通所リハビリテーション	20名 1,040回	20名 1,040回	22名 1,051回	29名 1,752回	<p>◇外来及び通所リハビリテーションの利用者拡大を図ったか。</p>	A	<p>▽外来リハビリテーションは、患者数、実施回数ともに増加し、通所リハビリテーションは、患者数、通所回数ともに増加した。</p>	A	自己評定のとおり																				
	H24	H25	H26	H27																																																														
入院	11,306名	11,776名	23,256名	24,588名																																																														
外来	284名	302名	534名	559名																																																														
	H24	H25	H26	H27																																																														
実患者数																																																																		
回数（単位数）																																																																		
外来リハビリテーション	9名 299回	18名 48回	13名 43回	20名 62回																																																														
通所リハビリテーション	20名 1,040回	20名 1,040回	22名 1,051回	29名 1,752回																																																														

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成27年度・年度計画	平成27年度・年度実績	評価の視点	判定	自己評定	判定	委員会評定及び意見等																																																																																																									
f) 在宅医療支援及び療養支援																																																																																																															
<p>・地域の介護機関・福祉機関・医療機関との連携を強化するため、相談窓口機能の充実を図る。</p>	<p>○日本海総合病院では、地域医療室及び医療連携室の看護師7名又は社会福祉士3名が、地域の介護・福祉・医療機関及び患者との退院調整業務を行った。</p> <p>○酒田医療センターでは、看護師2名体制で、退院調整及び入院前談等を行った。</p> <p>【実績】退院調整（日本海総合病院）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>他 病 院</td> <td>875件</td> <td>953件</td> <td>984件</td> <td>893件</td> </tr> <tr> <td>在 宅</td> <td>522件</td> <td>492件</td> <td>416件</td> <td>450件</td> </tr> <tr> <td>介護老人保健施設</td> <td>70件</td> <td>84件</td> <td>98件</td> <td>101件</td> </tr> <tr> <td>介護老人福祉施設</td> <td>154件</td> <td>110件</td> <td>118件</td> <td>92件</td> </tr> <tr> <td>ショートステイ</td> <td>89件</td> <td>101件</td> <td>82件</td> <td>75件</td> </tr> <tr> <td>有料老人ホーム</td> <td>115件</td> <td>130件</td> <td>112件</td> <td>151件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>81件</td> <td>61件</td> <td>69件</td> <td>62件</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,906件</td> <td>1,931件</td> <td>1,879件</td> <td>1,824件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】退院調整（酒田医療センター）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>他 病 院</td> <td>28件</td> <td>33件</td> <td>38件</td> <td>39件</td> </tr> <tr> <td>在 宅</td> <td>177件</td> <td>231件</td> <td>324件</td> <td>309件</td> </tr> <tr> <td>介護老人保健施設</td> <td>39件</td> <td>41件</td> <td>24件</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>介護老人福祉施設</td> <td>5件</td> <td>1件</td> <td>3件</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>ショートステイ</td> <td>11件</td> <td>8件</td> <td>10件</td> <td>18件</td> </tr> <tr> <td>有料老人ホーム</td> <td>21件</td> <td>12件</td> <td>13件</td> <td>20件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>8件</td> <td>4件</td> <td>2件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>289件</td> <td>330件</td> <td>414件</td> <td>413件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】入院前談件数（酒田医療センター）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院前談件数</td> <td>397件</td> <td>496件</td> <td>535件</td> <td>439件</td> </tr> <tr> <td>うち入院患者数</td> <td>377名</td> <td>471名</td> <td>506名</td> <td>408名</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	H27	他 病 院	875件	953件	984件	893件	在 宅	522件	492件	416件	450件	介護老人保健施設	70件	84件	98件	101件	介護老人福祉施設	154件	110件	118件	92件	ショートステイ	89件	101件	82件	75件	有料老人ホーム	115件	130件	112件	151件	その他	81件	61件	69件	62件	合 計	1,906件	1,931件	1,879件	1,824件		H24	H25	H26	H27	他 病 院	28件	33件	38件	39件	在 宅	177件	231件	324件	309件	介護老人保健施設	39件	41件	24件	22件	介護老人福祉施設	5件	1件	3件	4件	ショートステイ	11件	8件	10件	18件	有料老人ホーム	21件	12件	13件	20件	その他	8件	4件	2件	1件	合 計	289件	330件	414件	413件		H24	H25	H26	H27	入院前談件数	397件	496件	535件	439件	うち入院患者数	377名	471名	506名	408名	<p>◇退院調整又は入院前面談を効率的に行い、切れ目のないサービス提供に努めたか。</p>	A	<p>▽日本海総合病院では、相談窓口機能の充実及び効率化によって、看護師と社会福祉士が情報交換しながら患者の退院調整を行い、切れ目のないサービス提供に努めた。</p> <p>▽酒田医療センターでは、2名体制で効率的に患者の退院調整及び入院前面談を行い、切れ目のないサービス提供に努めた。</p>	A	自己評定のとおり
	H24	H25	H26	H27																																																																																																											
他 病 院	875件	953件	984件	893件																																																																																																											
在 宅	522件	492件	416件	450件																																																																																																											
介護老人保健施設	70件	84件	98件	101件																																																																																																											
介護老人福祉施設	154件	110件	118件	92件																																																																																																											
ショートステイ	89件	101件	82件	75件																																																																																																											
有料老人ホーム	115件	130件	112件	151件																																																																																																											
その他	81件	61件	69件	62件																																																																																																											
合 計	1,906件	1,931件	1,879件	1,824件																																																																																																											
	H24	H25	H26	H27																																																																																																											
他 病 院	28件	33件	38件	39件																																																																																																											
在 宅	177件	231件	324件	309件																																																																																																											
介護老人保健施設	39件	41件	24件	22件																																																																																																											
介護老人福祉施設	5件	1件	3件	4件																																																																																																											
ショートステイ	11件	8件	10件	18件																																																																																																											
有料老人ホーム	21件	12件	13件	20件																																																																																																											
その他	8件	4件	2件	1件																																																																																																											
合 計	289件	330件	414件	413件																																																																																																											
	H24	H25	H26	H27																																																																																																											
入院前談件数	397件	496件	535件	439件																																																																																																											
うち入院患者数	377名	471名	506名	408名																																																																																																											
<p>・急性増悪による入院の受入れなど、在宅患者及び介護・福祉機関の患者に対して、かかりつけ医と連携して医療支援を行う。</p>	<p>○在宅患者及び介護・福祉施設の入所者に対して、かかりつけ医及び介護支援専門員・福祉施設職員と連携して医療支援を行った。</p>	<p>◇在宅又は施設入所の患者に対して、かかりつけ医と連携して医療支援を行ったか。</p>	A	<p>▽急性増悪による入院の受入れなどについて、連携して医療支援を行った。</p>	A	自己評定のとおり																																																																																																									
<p>・酒田地区医師会訪問看護ステーション「スワン」及び在宅医療・介護連携支援室「ポンテ」との連携強化を図る。</p>	<p>○酒田医療センターと酒田地区医師会訪問看護ステーション「スワン」は、互いの協力が必要な患者において、酒田医療センターの空床状況を提供するなど、それぞれの情報を交換し、より適切な対応をとることができるよう連携を図った。</p> <p>○在宅医療・介護連携支援室「ポンテ」で開催した各種研修会や会議に、酒田医療センターの看護師、作業療法士等を講師として派遣し事業の連携を図った。</p>	<p>◇酒田地区医師会訪問看護ステーション「スワン」及び在宅医療・介護連携支援室「ポンテ」と連携強化を図ったか。</p>	A	<p>▽「スワン」を利用する患者が、入院が必要となった場合に備え、患者情報の交換や空床数の情報提供を行うとともに、「ポンテ」で開催した各種研修会等に、講師を派遣し、それぞれ連携の強化を図った。</p>	A	自己評定のとおり																																																																																																									
g) その他																																																																																																															
<p>・両病院間の患者移動における利便性確保のため、シャトルバス「げんき号」を運行する。</p>	<p>○日本海総合病院と酒田医療センターの両病院間における患者の移動のため、「げんき号」を定期便の他、必要に応じて臨時便を運行した。</p> <p>【実績】利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ乗車人数</td> <td>4,057名</td> <td>3,975名</td> <td>3,751名</td> <td>3,307名</td> </tr> <tr> <td>乗 車 率</td> <td>12.9%</td> <td>12.7%</td> <td>12.2%</td> <td>10.8%</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	H27	延べ乗車人数	4,057名	3,975名	3,751名	3,307名	乗 車 率	12.9%	12.7%	12.2%	10.8%	<p>◇「げんき号」の効率的な運行に努めたか。</p>	A	<p>▽1日7便の定期便の他に、必要に応じて臨時便を運行し、患者の移動に支障が生じないよう、効率的な運行に努めた。</p>	A	自己評定のとおり																																																																																										
	H24	H25	H26	H27																																																																																																											
延べ乗車人数	4,057名	3,975名	3,751名	3,307名																																																																																																											
乗 車 率	12.9%	12.7%	12.2%	10.8%																																																																																																											



地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成27年度・年度計画	平成27年度・年度実績	評価の視点	自己評定	委員会評定及び意見等																																																
<p>②災害時や健康危機における医療協力（日本海総合病院）</p>																																																				
<p>・災害発生時には、災害拠点病院として患者を受け入れるとともに、県の要請に基づき、又は自ら必要と認めるときは、DMAT（災害派遣医療チーム）等、医療スタッフを現地に派遣して医療救護活動を行う。</p>	<p>○DMAT等の派遣要請を要する災害等が発生しなかったため、医療救護活動を行うことはなかったが、災害発生に備え、各種訓練や研修会に積極的に参加し出動態勢を整えた。</p>	<p>◇要請に応じて、速やかに出動できる態勢を整えたか。</p>	<p>A ▽出動要請に備え、各種訓練や研修会に積極的に参加し、隊員の技能維持等に努めた。</p>	<p>A 自己評定のとおりに</p>																																																
<p>・地域が被災した場合に備え、酒田市が実施する「酒田市総合防災訓練」に参加する。</p>	<p>○酒田市が実施する「酒田市総合防災訓練」は、酒田市長選挙のため中止となったが、災害発生時に備え、他の機関が実施した災害医療訓練又は研修に、次のとおり参加した。</p>	<p>◇他の機関が実施する災害医療訓練又は研修に参加したか。</p>	<p>A ▽酒田市が実施する「酒田市総合防災訓練」は中止となったが、災害発生時に備え、他の機関が実施した災害訓練や研修会に積極的に参加した。</p>	<p>A 自己評定のとおりに</p>																																																
<p>・山形県が実施する、庄内空港をSCU（広域搬送拠点）としての機能整備において、医療機器の保管管理及び医療救護活動等に協力する。</p>	<p>○酒田市が実施する「酒田市総合防災訓練」は、酒田市長選挙のため中止となったが、災害発生時に備え、他の機関が実施した災害医療訓練又は研修に、次のとおり参加した。</p> <table border="1" data-bbox="555 363 958 497"> <thead> <tr> <th>訓練実施日</th> <th>会場</th> <th>訓練・研修名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27.8.8</td> <td>庄内空港</td> <td>山形県災害時医療救護訓練</td> <td>13名</td> </tr> <tr> <td>H27.8.22~23</td> <td>新潟市</td> <td>DMAT技能維持研修（東北ブロック）</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td>H27.8.31~9.1</td> <td>東京都</td> <td>総合防災訓練</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>H27.10.3~4</td> <td>福岡市</td> <td>東北DMAT共同訓練</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>H28.1.16~17</td> <td>仙台市</td> <td>DMAT技能維持研修（東北ブロック）</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>H28.2.9</td> <td>山形県庁</td> <td>広域災害救急医療情報システム（EMIS）研修会</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○他の機関が実施した災害医療訓練及び研修に、次のとおりインストラクターを派遣した。</p> <table border="1" data-bbox="555 545 958 646"> <thead> <tr> <th>研修実施日</th> <th>会場</th> <th>訓練・研修名</th> <th>派遣人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27.8.22~23</td> <td>新潟市</td> <td>DMAT技能維持研修（東北ブロック）</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>H27.8.31~9.1</td> <td>東京都</td> <td>総合防災訓練</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>H27.10.3~4</td> <td>福岡市</td> <td>東北DMAT共同訓練</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>H28.1.16~17</td> <td>仙台市</td> <td>DMAT技能維持研修（東北ブロック）</td> <td>2名</td> </tr> </tbody> </table>	訓練実施日	会場	訓練・研修名	参加人数	H27.8.8	庄内空港	山形県災害時医療救護訓練	13名	H27.8.22~23	新潟市	DMAT技能維持研修（東北ブロック）	12名	H27.8.31~9.1	東京都	総合防災訓練	6名	H27.10.3~4	福岡市	東北DMAT共同訓練	5名	H28.1.16~17	仙台市	DMAT技能維持研修（東北ブロック）	9名	H28.2.9	山形県庁	広域災害救急医療情報システム（EMIS）研修会	1名	研修実施日	会場	訓練・研修名	派遣人数	H27.8.22~23	新潟市	DMAT技能維持研修（東北ブロック）	2名	H27.8.31~9.1	東京都	総合防災訓練	2名	H27.10.3~4	福岡市	東北DMAT共同訓練	2名	H28.1.16~17	仙台市	DMAT技能維持研修（東北ブロック）	2名	<p>◇SCUの機能整備において、山形県に協力したか。</p>	<p>A ▽山形県が所有の医療資機材を預かり、要請に応じて速やかに運搬できるよう管理した。</p>	<p>A 自己評定のとおりに</p>
訓練実施日	会場	訓練・研修名	参加人数																																																	
H27.8.8	庄内空港	山形県災害時医療救護訓練	13名																																																	
H27.8.22~23	新潟市	DMAT技能維持研修（東北ブロック）	12名																																																	
H27.8.31~9.1	東京都	総合防災訓練	6名																																																	
H27.10.3~4	福岡市	東北DMAT共同訓練	5名																																																	
H28.1.16~17	仙台市	DMAT技能維持研修（東北ブロック）	9名																																																	
H28.2.9	山形県庁	広域災害救急医療情報システム（EMIS）研修会	1名																																																	
研修実施日	会場	訓練・研修名	派遣人数																																																	
H27.8.22~23	新潟市	DMAT技能維持研修（東北ブロック）	2名																																																	
H27.8.31~9.1	東京都	総合防災訓練	2名																																																	
H27.10.3~4	福岡市	東北DMAT共同訓練	2名																																																	
H28.1.16~17	仙台市	DMAT技能維持研修（東北ブロック）	2名																																																	
<p>・災害が発生した場合に備え、マニュアルを整備するとともに、災害対応実動訓練を実施する。</p> <p>・地域の医療従事者を対象とした災害医療研修を実施する。</p>	<p>○SCU（航空搬送拠点臨時医療施設）の機能整備への協力として、山形県が所有する医療用資機材を日本海総合病院のDMAT資材庫で預かり管理を行った。また、山形県が実施した県災害時医療救護訓練の中で、庄内空港SCU活動を想定した訓練が実施され、日本海総合病院のDMATも参加した。</p>	<p>◇SCUの機能整備において、山形県に協力したか。</p>	<p>A ▽山形県が所有の医療資機材を預かり、要請に応じて速やかに運搬できるよう管理した。</p>	<p>A 自己評定のとおりに</p>																																																
<p>・災害が発生した場合に備え、マニュアルを整備するとともに、災害対応実動訓練を実施する。</p> <p>・地域の医療従事者を対象とした災害医療研修を実施する。</p>	<p>○災害発生時に備え、既存の「災害対策マニュアル」を改訂するとともに、災害対策委員会が主体となって、日本海総合病院全職員、委託業者及び地域の医療従事者を対象に、災害対応実動訓練等、災害医療研修を次のとおり実施した。</p> <table border="1" data-bbox="555 874 958 1220"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>会場</th> <th>訓練・研修名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27.5.14</td> <td>日本海総合病院講堂</td> <td>【研修会】災害医療の基盤とトリアージ</td> <td>153名</td> </tr> <tr> <td>H27.6.25</td> <td>日本海総合病院 エントランス</td> <td>【研修会】搬送患者を供ったトリアージ 協力：酒田地区広域行政総合消防本部</td> <td>133名 (うち院内21名)</td> </tr> <tr> <td>H27.7.23</td> <td>日本海総合病院 講堂</td> <td>【研修会】大規模災害発生時の日本海総合病院の役割</td> <td>122名</td> </tr> <tr> <td>H27.9.12</td> <td>日本海総合病院 エントランス</td> <td>【研修会】災害対応机上訓練 協力：酒田地区広域行政総合消防本部</td> <td>97名 (うち院内1名)</td> </tr> <tr> <td>H27.10.17</td> <td>日本海総合病院 エントランス</td> <td>【研修会】災害対応実動訓練 協力：酒田地区広域行政総合消防本部、鶴岡市消防本部、県立新庄病院、DMAT、福岡市庄内病院、酒田市立看護専門学校</td> <td>274名 (うち院内38名)</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	会場	訓練・研修名	参加人数	H27.5.14	日本海総合病院講堂	【研修会】災害医療の基盤とトリアージ	153名	H27.6.25	日本海総合病院 エントランス	【研修会】搬送患者を供ったトリアージ 協力：酒田地区広域行政総合消防本部	133名 (うち院内21名)	H27.7.23	日本海総合病院 講堂	【研修会】大規模災害発生時の日本海総合病院の役割	122名	H27.9.12	日本海総合病院 エントランス	【研修会】災害対応机上訓練 協力：酒田地区広域行政総合消防本部	97名 (うち院内1名)	H27.10.17	日本海総合病院 エントランス	【研修会】災害対応実動訓練 協力：酒田地区広域行政総合消防本部、鶴岡市消防本部、県立新庄病院、DMAT、福岡市庄内病院、酒田市立看護専門学校	274名 (うち院内38名)	<p>◇マニュアルを整備するとともに、日本海総合病院の職員だけでなく、地域の医療従事者等を含めて訓練又は研修を実施したか。</p>	<p>A ▽災害拠点病院としての責務を果たすため、既存の「災害対策マニュアル」を改訂し、関係機関の協力と参加を得ながら、災害対応実動訓練を実施した。</p>	<p>A 自己評定のとおりに</p>																								
実施日	会場	訓練・研修名	参加人数																																																	
H27.5.14	日本海総合病院講堂	【研修会】災害医療の基盤とトリアージ	153名																																																	
H27.6.25	日本海総合病院 エントランス	【研修会】搬送患者を供ったトリアージ 協力：酒田地区広域行政総合消防本部	133名 (うち院内21名)																																																	
H27.7.23	日本海総合病院 講堂	【研修会】大規模災害発生時の日本海総合病院の役割	122名																																																	
H27.9.12	日本海総合病院 エントランス	【研修会】災害対応机上訓練 協力：酒田地区広域行政総合消防本部	97名 (うち院内1名)																																																	
H27.10.17	日本海総合病院 エントランス	【研修会】災害対応実動訓練 協力：酒田地区広域行政総合消防本部、鶴岡市消防本部、県立新庄病院、DMAT、福岡市庄内病院、酒田市立看護専門学校	274名 (うち院内38名)																																																	
<p>・災害対応に必要な物品等を備蓄する。</p>	<p>○災害発生時に備え、災害対応に必要な物品を整備した。</p> <table border="1" data-bbox="555 1273 958 1449"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>メーカー</th> <th>規格</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NIC無線機用吸引機</td> <td>野村工業</td> <td>WAMK-1</td> <td>6台</td> </tr> <tr> <td>LED式機中電灯</td> <td>小泉電機</td> <td>FPL281J</td> <td>3台</td> </tr> <tr> <td>トランシーバー</td> <td>パナソニック</td> <td>BFDS01PW</td> <td>3台</td> </tr> <tr> <td>トランシーバー用バッテリー</td> <td>バーテックススタンダード</td> <td>FN8-WR7L1</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td>DMAT用着用品</td> <td>サノルメカインテ</td> <td>T-5309</td> <td>3着</td> </tr> <tr> <td>ユニフォーム</td> <td>東バートル</td> <td>5103-3、5107-3</td> <td>20着</td> </tr> </tbody> </table>	機器名	メーカー	規格	数量	NIC無線機用吸引機	野村工業	WAMK-1	6台	LED式機中電灯	小泉電機	FPL281J	3台	トランシーバー	パナソニック	BFDS01PW	3台	トランシーバー用バッテリー	バーテックススタンダード	FN8-WR7L1	2台	DMAT用着用品	サノルメカインテ	T-5309	3着	ユニフォーム	東バートル	5103-3、5107-3	20着	<p>◇災害対応に必要な物品等の備蓄を行ったか。</p>	<p>A ▽災害対応用の物品を整備したほか、DMATの医療活動に着用する、隊員用ユニフォームを購入した。</p>	<p>A 自己評定のとおりに</p>																				
機器名	メーカー	規格	数量																																																	
NIC無線機用吸引機	野村工業	WAMK-1	6台																																																	
LED式機中電灯	小泉電機	FPL281J	3台																																																	
トランシーバー	パナソニック	BFDS01PW	3台																																																	
トランシーバー用バッテリー	バーテックススタンダード	FN8-WR7L1	2台																																																	
DMAT用着用品	サノルメカインテ	T-5309	3着																																																	
ユニフォーム	東バートル	5103-3、5107-3	20着																																																	

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成27年度・年度計画	平成27年度・年度実績	評価の視点	自己評定	委員会評定及び意見等															
<p>・非常用発電機の燃料や医薬品等の優先納入体制を維持する。</p> <p>・新型インフルエンザをはじめ新たな感染症が発生したときは、山形県と連携して対応する。</p>	<p>○災害時においても、優先納入できることを条件として物品購入契約を締結し、優先納入体制を維持した。</p> <p>○株式会社伊藤園と「災害時における飲料水等の供給に関する協定」を締結し、日本海総合病院に、地域貢献型自動販売機（災害救援型）を2台設置した。</p> <p>○新型インフルエンザ等対策特別措置法に規定する県の指定地方公共機関として、「庄内地域新型インフルエンザ等対策行動要領」の改定に参画した。</p>	<p>◇継続して優先納入体制を維持したか。</p> <p>◇新たな感染症などの発生に対応するため、山形県と連携したか。</p>	<p>判定</p> <p>A</p> <p>▽契約書に条件を明記して、継続して災害時における物品の優先納入体制を維持した。また、飲料販売メーカーと、災害時の飲料水の優先供給等について協定を締結した。</p> <p>A</p> <p>▽山形県庄内総合支庁が策定した「庄内地域新型インフルエンザ等対策行動要領」の改定に参画した。</p>	<p>判定</p> <p>A</p> <p>自己評定のとおり</p> <p>A</p> <p>自己評定のとおり</p>															
<p>③政策医療の実施（日本海総合病院）</p>																			
<p>・第二種感染症指定医療機関として、院内感染対策マニュアルの見直しを定期的に行い、適切かつ速やかな感染症患者の受入に努める。</p>	<p>○第二種感染症指定医療機関として、マニュアルの見直しを行うとともに、速やかな感染症患者の受け入れのため、関係機関とともに「庄内地域新型インフルエンザ等関係機関対策合同訓練」を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日等</th> <th>関係機関</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27.10.23 日本海総合病院</td> <td>山形県庄内保健所 酒田地区広域行政組合消防本部 庄交ハイヤー株式会社</td> <td>71名 (うち関係機関28名)</td> </tr> </tbody> </table>	実施日等	関係機関	参加人数	H27.10.23 日本海総合病院	山形県庄内保健所 酒田地区広域行政組合消防本部 庄交ハイヤー株式会社	71名 (うち関係機関28名)	<p>◇感染症患者を速やかに受入れるため、マニュアルの見直しを行い、受入体制の維持に努めたか。</p>	<p>判定</p> <p>A</p> <p>▽インフルエンザ予防対策マニュアルを改定したほか、食中毒発生時の連絡対応概略を院内感染対策マニュアルに追加した。また、「庄内地域新型インフルエンザ等関係機関対策合同訓練」を実施し、体制の整備に努めた。</p>	<p>判定</p> <p>A</p> <p>自己評定のとおり</p>									
実施日等	関係機関	参加人数																	
H27.10.23 日本海総合病院	山形県庄内保健所 酒田地区広域行政組合消防本部 庄交ハイヤー株式会社	71名 (うち関係機関28名)																	
<p>・認知症患者医療センターを運営し、認知症患者の専門医療相談、鑑別診断等について継続して実施していく。</p>	<p>○「認知症患者医療センター」を運営し、引き続き認知症患者の専門医療相談、鑑別診断等を行った。</p> <p>【実績】相談件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規相談件数</td> <td>789件</td> <td>733件</td> <td>741件</td> <td>591件</td> </tr> <tr> <td>継続相談件数</td> <td>286件</td> <td>416件</td> <td>355件</td> <td>321件</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	H27	新規相談件数	789件	733件	741件	591件	継続相談件数	286件	416件	355件	321件	<p>◇「認知症患者医療センター」としての役割を果たしたか。</p>	<p>判定</p> <p>A</p> <p>▽庄内地域で唯一の「認知症患者医療センター」として、専門的な相談等を通じて、介護サービス事業者等との連携強化を図り、その役割を果たした。</p>	<p>判定</p> <p>A</p> <p>自己評定のとおり</p>
	H24	H25	H26	H27															
新規相談件数	789件	733件	741件	591件															
継続相談件数	286件	416件	355件	321件															
<p>・臓器移植について、提供施設として訓練を行う。</p>	<p>○院内コーディネーター及び関係部門が参加し、脳死下臓器提供を想定した訓練を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日等</th> <th>研修内容等</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28.1.23 日本海総合病院 講堂</td> <td>「脳死下臓器提供シミュレーション」 東北大学メディカルメガバンク助教 戸子台 和哲 先生</td> <td>27名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○臓器移植の提供施設として、日本臓器移植ネットワークと連携し、心停止下での臓器提供を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>臓器及び提供先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28.2.11 女性1名</td> <td>腎臓（右） 山形大学医学部附属病院 腎臓（左） JCHO仙台病院</td> </tr> </tbody> </table>	実施日等	研修内容等	参加人数	H28.1.23 日本海総合病院 講堂	「脳死下臓器提供シミュレーション」 東北大学メディカルメガバンク助教 戸子台 和哲 先生	27名	実施日	臓器及び提供先	H28.2.11 女性1名	腎臓（右） 山形大学医学部附属病院 腎臓（左） JCHO仙台病院	<p>◇提供施設としての訓練を行い、関係機関との連携の強化を図ったか。</p>	<p>判定</p> <p>S</p> <p>▽臓器移植に対する理解を深め、関係機関それぞれの役割を確認し連携の強化を図るため、脳死下臓器提供を想定した訓練を実施した。 ▽日本臓器移植ネットワークと連携し、心停止下での臓器提供を実施した。</p>	<p>判定</p> <p>A</p> <p>件数が少ないことと脳死下でないためA評価とする。</p>					
実施日等	研修内容等	参加人数																	
H28.1.23 日本海総合病院 講堂	「脳死下臓器提供シミュレーション」 東北大学メディカルメガバンク助教 戸子台 和哲 先生	27名																	
実施日	臓器及び提供先																		
H28.2.11 女性1名	腎臓（右） 山形大学医学部附属病院 腎臓（左） JCHO仙台病院																		
<p>・小児医療について、第6次山形県保健医療計画に基づき、一般小児医療から小児専門医療まで、及び初期小児救急から入院を要する小児救急を行う「地域小児医療センター」としての役割を果たしていく。</p> <p>・周産期医療について、第6次山形県保健医療計画に基づき、周産期に係る比較的高度な「二次周産期医療」を行う。</p>	<p>○地域の小児医療機関の協力を得て、午後5時15分から午後10時まで、小児科医が救命救急センターに常駐し、地域の小児救急医療体制の確保に努めた。</p> <p>○二次周産期医療を行う拠点病院として、周産期に係る比較的高度な産科医療を実施した。</p> <p>【実績】母体・新生児の救急受入れ患者数等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急受入患者（母体）数</td> <td>7名</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>救急受入患者（新生児）数</td> <td>8名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>緊急帝王切開術数</td> <td>2.2件</td> <td>2.7件</td> </tr> </tbody> </table>		H26	H27	救急受入患者（母体）数	7名	6名	救急受入患者（新生児）数	8名	4名	緊急帝王切開術数	2.2件	2.7件	<p>◇「地域小児医療センター」としての役割を果たしたか。</p> <p>◇比較的高度な「二次周産期医療」を行ったか。</p>	<p>判定</p> <p>A</p> <p>▽「地域小児医療センター」として、地域の小児科医と日本海総合病院の小児科医が協力して、小児救急医療体制を確保し、熱性痙攣、異物誤嚥などの治療にあたった。</p> <p>A</p> <p>▽ハイリスクな分娩や帝王切開など、高度な周産期医療を提供するとともに、他の医療機関から救急搬送された、子宮破裂や分娩停止した母体、呼吸障害の新生児等を受入れた。</p>	<p>判定</p> <p>S</p> <p>地域の小児科医との連携は大いに評価できる。</p> <p>判定</p> <p>A</p> <p>自己評定のとおり</p>			
	H26	H27																	
救急受入患者（母体）数	7名	6名																	
救急受入患者（新生児）数	8名	4名																	
緊急帝王切開術数	2.2件	2.7件																	

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成27年度・年度計画	平成27年度・年度実績	評価の視点	判定	自己評定	判定	委員会評定及び意見等																																																		
④医療スタッフの確保及び資質向上																																																								
a) 医療人材の確保・育成																																																								
<p>・山形大学との臨床実習協定により学生チューデントドクターを受け入れ、医学生教育及び医師育成の一翼を担う。</p> <p>・臨床研修医及びレジデント(専門分野の研修医をいう。)の受け入れ拡大に努め、教育研修体制の充実を図る。</p>	<p>○医学生教育及び医師育成のため、臨床研修医、レジデント及び学生チューデントドクター等を受入れた。</p> <p>【実績】臨床研修医等の年間受入れ人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>臨床研修医</td> <td>21名</td> <td>20名</td> <td>28名</td> <td>29名</td> </tr> <tr> <td>レジデント</td> <td>18名</td> <td>23名</td> <td>28名</td> <td>22名</td> </tr> <tr> <td>学生チューデントドクター(山形大学)</td> <td>19名</td> <td>38名</td> <td>51名</td> <td>87名</td> </tr> <tr> <td>臨床医学専攻生(東北大学)</td> <td>1名</td> <td>2名</td> <td>0名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>地域医療実習生(東北大学)</td> <td>4名</td> <td>4名</td> <td>6名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>都道府県別臨床実習(自治医科大学)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>地域保健実習(自治医科大学)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	H27	臨床研修医	21名	20名	28名	29名	レジデント	18名	23名	28名	22名	学生チューデントドクター(山形大学)	19名	38名	51名	87名	臨床医学専攻生(東北大学)	1名	2名	0名	2名	地域医療実習生(東北大学)	4名	4名	6名	4名	都道府県別臨床実習(自治医科大学)	-	-	-	1名	地域保健実習(自治医科大学)	-	-	-	1名	<p>◇継続して医学生教育及び医師育成に取り組んだ。</p>	S	<p>▽臨床研修医及びレジデントの受け入れだけでなく、山形大学からは協定により学生チューデントドクターを、東北大学からは地域医療実習の医学生を継続して受入れたほか、新たに自治医科大学、群馬大学の医学生を受け入れ、医師育成及び医学生教育に取り組んだ。</p>	S	自己評定のとおり										
	H24	H25	H26	H27																																																				
臨床研修医	21名	20名	28名	29名																																																				
レジデント	18名	23名	28名	22名																																																				
学生チューデントドクター(山形大学)	19名	38名	51名	87名																																																				
臨床医学専攻生(東北大学)	1名	2名	0名	2名																																																				
地域医療実習生(東北大学)	4名	4名	6名	4名																																																				
都道府県別臨床実習(自治医科大学)	-	-	-	1名																																																				
地域保健実習(自治医科大学)	-	-	-	1名																																																				
<p>・地方独立行政法人那覇市立病院(臨床研修医3名)と、日本海総合病院(2年次目の臨床研修医6名)との間で、臨床研修医を相互に受け入れる交換地域医療研修を実施する。</p> <p>・医師以外の医療スタッフを育成するため、専門学校等の要請に基づき実習生を受け入れる。</p>	<p>○地方独立行政法人那覇市立病院の2年次臨床研修医3名と、日本海総合病院の2年次臨床研修医6名との間で、臨床研修医を相互に受け入れる交換地域医療研修を実施した。</p> <p>○医師以外の医療スタッフの育成をするため、各種学校等の要請に基づき可能な限り実習生の受け入れを行った。</p> <p>【実績】実習生等の受入れ状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>受入れ部署</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護部(那覇市立病院附属専門学校)</td> <td>99名</td> <td>99名</td> <td>100名</td> <td>102名</td> </tr> <tr> <td>薬剤部</td> <td>0名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>検査部</td> <td>0名</td> <td>2名</td> <td>2名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション室(科)</td> <td>13名</td> <td>16名</td> <td>18名</td> <td>16名</td> </tr> <tr> <td>ME室</td> <td>0名</td> <td>2名</td> <td>3名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>栄養管理室</td> <td>3名</td> <td>4名</td> <td>3名</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>歯科口腔外科</td> <td>3名</td> <td>0名</td> <td>6名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>医事課</td> <td>3名</td> <td>1名</td> <td>2名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>医務課</td> <td>2名</td> <td>6名</td> <td>9名</td> <td>2名</td> </tr> </tbody> </table>	受入れ部署	H24	H25	H26	H27	看護部(那覇市立病院附属専門学校)	99名	99名	100名	102名	薬剤部	0名	1名	1名	0名	検査部	0名	2名	2名	2名	リハビリテーション室(科)	13名	16名	18名	16名	ME室	0名	2名	3名	1名	栄養管理室	3名	4名	3名	5名	歯科口腔外科	3名	0名	6名	4名	医事課	3名	1名	2名	2名	医務課	2名	6名	9名	2名	<p>◇地方独立行政法人那覇市立病院との間で、交換地域医療研修を実施した。</p> <p>◇医師以外の医療スタッフの育成に取り組んだ。</p>	A	<p>▽計画どおり、日本海総合病院の2年次臨床研修医6名と、地方独立行政法人那覇市立病院の2年次臨床研修医3名との間で、交換地域医療研修を実施した。</p> <p>▽看護学生をはじめ、医師以外の医療スタッフについても実習施設又は要請により受け入れを行い、育成及び教育に取り組んだ。</p>	A	自己評定のとおり
受入れ部署	H24	H25	H26	H27																																																				
看護部(那覇市立病院附属専門学校)	99名	99名	100名	102名																																																				
薬剤部	0名	1名	1名	0名																																																				
検査部	0名	2名	2名	2名																																																				
リハビリテーション室(科)	13名	16名	18名	16名																																																				
ME室	0名	2名	3名	1名																																																				
栄養管理室	3名	4名	3名	5名																																																				
歯科口腔外科	3名	0名	6名	4名																																																				
医事課	3名	1名	2名	2名																																																				
医務課	2名	6名	9名	2名																																																				
<p>・医師以外の医療スタッフについて、各種研修会及び学会等に参加し、専門的知識と技術の習得に努める。</p>	<p>○より質の高い看護を提供するため、次のとおり研修会を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>対象者</th> <th>参加人数</th> <th>研修内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10/27年度</td> <td>研修者</td> <td>21名</td> <td>「研修報告(報告) 看護研究計画書を院内発表することが出来る」</td> </tr> <tr> <td>10/27年度</td> <td>研修者</td> <td>175名</td> <td>「文庫の茶室(演習)ポスターの書き方を学び、実践力を身につける」</td> </tr> <tr> <td>10/27年度</td> <td>研修者</td> <td>18名</td> <td>「看護研究(報告) 看護研究計画書を院内発表することが出来る」</td> </tr> <tr> <td>10/27年度</td> <td>研修者</td> <td>58名</td> <td>「ハンダーソンの看護理論を理解し実践出来る」</td> </tr> <tr> <td>10/27年度</td> <td>研修者</td> <td>41名</td> <td>「実習生を育てるための教育的知識、技術を実習し実践出来る」</td> </tr> <tr> <td>10/27年度</td> <td>研修者</td> <td>15名</td> <td>「実践研修がてき研修成果をまとめることが出来る」</td> </tr> <tr> <td>10/27年度</td> <td>研修者</td> <td>21名</td> <td>「特別研修がてき研修成果をまとめることが出来る」</td> </tr> <tr> <td>10/27年度</td> <td>研修者</td> <td>164名</td> <td>「自己を知り他者を認めあう人間関係の構築が出来る」</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	対象者	参加人数	研修内容	10/27年度	研修者	21名	「研修報告(報告) 看護研究計画書を院内発表することが出来る」	10/27年度	研修者	175名	「文庫の茶室(演習)ポスターの書き方を学び、実践力を身につける」	10/27年度	研修者	18名	「看護研究(報告) 看護研究計画書を院内発表することが出来る」	10/27年度	研修者	58名	「ハンダーソンの看護理論を理解し実践出来る」	10/27年度	研修者	41名	「実習生を育てるための教育的知識、技術を実習し実践出来る」	10/27年度	研修者	15名	「実践研修がてき研修成果をまとめることが出来る」	10/27年度	研修者	21名	「特別研修がてき研修成果をまとめることが出来る」	10/27年度	研修者	164名	「自己を知り他者を認めあう人間関係の構築が出来る」	<p>◇医師以外の医療スタッフが研修等に参加し、専門知識の習得及び技能の向上を図った。</p>	A	<p>▽研修規程に基づき、部門別の職場研修を実施したほか、職員研修計画に派遣研修を組み入れ、学会、研修会等に参加し、専門技能の向上を図った。</p>	A	自己評定のとおり														
実施日	対象者	参加人数	研修内容																																																					
10/27年度	研修者	21名	「研修報告(報告) 看護研究計画書を院内発表することが出来る」																																																					
10/27年度	研修者	175名	「文庫の茶室(演習)ポスターの書き方を学び、実践力を身につける」																																																					
10/27年度	研修者	18名	「看護研究(報告) 看護研究計画書を院内発表することが出来る」																																																					
10/27年度	研修者	58名	「ハンダーソンの看護理論を理解し実践出来る」																																																					
10/27年度	研修者	41名	「実習生を育てるための教育的知識、技術を実習し実践出来る」																																																					
10/27年度	研修者	15名	「実践研修がてき研修成果をまとめることが出来る」																																																					
10/27年度	研修者	21名	「特別研修がてき研修成果をまとめることが出来る」																																																					
10/27年度	研修者	164名	「自己を知り他者を認めあう人間関係の構築が出来る」																																																					
<p>・認定看護師の資格を取得するため、看護師を研修に派遣する。</p>	<p>○2名の看護師が、がん放射線認定看護師養成研修を受講した。平成28年度には認定試験を受験することを予定している。</p>	<p>◇認定看護師を研修に派遣した。</p>	A	<p>▽2名の看護師を、がん放射線認定看護師養成研修に派遣した。</p>	A	自己評定のとおり																																																		
<p>・DMAT隊員の育成を図る。</p>	<p>○日本海総合病院に対するDMAT隊員養成のための研修の割り当てがなかったため、新たなDMAT隊員の育成は出来なかったが、現隊員の技能を維持するため、技能維持研修に延べ21名参加した。</p>	<p>◇DMAT隊員を育成した。</p>	A	<p>▽DMAT隊員の養成割り当てがなかったため、新たなDMAT隊員の育成はできなかったが、技能維持研修に参加させ、現隊員の技能維持を図った。</p>	A	自己評定のとおり																																																		

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成27年度・年度計画	平成27年度・年度実績	評価の視点	自己評定	委員会評定及び意見等																																								
<p>・多職種が協働し、効率的に良質な医療サービスを提供するため、栄養サポートチーム、緩和ケアチーム、人工呼吸サポートチーム、院内感染対策チーム及び褥瘡対策チームによる「チーム医療」を推進する。</p> <p>・看護学生等の申請により修学資金を貸与し、優秀な看護師又は助産師の育成に寄与する。</p>	<p>○多職種が協働し、効率的に良質な医療サービスを提供するため、栄養サポートチームや呼吸サポートチーム等によるチーム医療を推進した。</p> <p>○地域医療に貢献する優秀な看護師又は助産師を確保するため、新たに3名、合計10名の看護学生等に修学資金の貸与を行った。</p>	<p>チーム医療を推進したか。</p> <p>◇修学資金の貸与を行ったか。</p>	<p>判定 A 他職種が協働し、効率的に良質な医療サービスを提供するため、チーム医療を推進した。</p> <p>S ▽新たに10名の申し込みがあり、審査の結果、そのうち3名に貸与を行った。 ▽貸与修了者1名が助産師学校を卒業し、平成27年4月に日本海総合病院に就職し、この制度の目的を達成した。</p>	<p>判定 A 自己評定のとおりに</p> <p>S 数は少ないが、給付型（グラント）に近いので自己評定のとおりに</p>																																								
<p>b) 事務職員の確保と専門性の向上</p>	<p>○係長級以上のプロパー事務職員に管理者研修を実施し、医療職とともに病院運営に関わる重要性を学び、また、OJT意識の醸成を図った。</p>	<p>◇法人内研修の充実を図り、人材育成を図ることができたか。</p>	<p>A ▽これまで、医療職のみの受講であった管理者研修に、プロパー事務職員を参加させ、事務職員の人材育成を図った。 ▽医事業務に精通した職員を育成するため、医療事務及び診療情報管理士の資格取得に対する費用の助成を行い、専門性の向上を図った。平成27年度は4名の職員が医療事務技能審査に合格した。</p>	<p>A 自己評定のとおりに</p>																																								
<p>・医師事務作業補助者の資質向上を図る。</p>	<p>○外部講師による次のような研修会を開催し、医師事務作業補助者の専門知識の習得と資質向上を図った。</p> <table border="1" data-bbox="555 571 949 715"> <thead> <tr> <th>実施内容</th> <th>研修内容等</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27.11.12 日本海総合病院 講演</td> <td>第1回 診療情報管理士 「のりこ講演会について現状とポイント」 株式会社ニッセイ学院酒田東院 院長 橋本 幸彦 氏 「診療情報管理士 プロフェッショナルジャーナル」 橋本 幸彦 氏</td> <td>10名 16名</td> </tr> <tr> <td>H28.3.29 日本海総合病院 講演</td> <td>第2回 診療情報管理士 「平成28年度診療情報管理士について」 株式会社ニッセイ学院酒田東院 院長 橋本 幸彦 氏</td> <td>13名 16名</td> </tr> </tbody> </table>	実施内容	研修内容等	参加人数	H27.11.12 日本海総合病院 講演	第1回 診療情報管理士 「のりこ講演会について現状とポイント」 株式会社ニッセイ学院酒田東院 院長 橋本 幸彦 氏 「診療情報管理士 プロフェッショナルジャーナル」 橋本 幸彦 氏	10名 16名	H28.3.29 日本海総合病院 講演	第2回 診療情報管理士 「平成28年度診療情報管理士について」 株式会社ニッセイ学院酒田東院 院長 橋本 幸彦 氏	13名 16名	<p>◇研修会を開催し、専門知識の習得と資質の向上を図ったか。</p>	<p>A ▽診療報酬に関する研修会だけでなく、各部門が開催する勉強会にも積極的に参加させ、資質の向上を図った。</p>	<p>A 自己評定のとおりに</p>																															
実施内容	研修内容等	参加人数																																										
H27.11.12 日本海総合病院 講演	第1回 診療情報管理士 「のりこ講演会について現状とポイント」 株式会社ニッセイ学院酒田東院 院長 橋本 幸彦 氏 「診療情報管理士 プロフェッショナルジャーナル」 橋本 幸彦 氏	10名 16名																																										
H28.3.29 日本海総合病院 講演	第2回 診療情報管理士 「平成28年度診療情報管理士について」 株式会社ニッセイ学院酒田東院 院長 橋本 幸彦 氏	13名 16名																																										
<p>⑤医療サービスの効果的な提供</p>																																												
<p>a) 地域連携の推進</p>	<p>○庄内地域の中核的な医療機関及び地域医療支援病院としての役割を果たすとともに、他の医療機関との役割分担及び連携の強化を図り、地域医療支援病院の指定要件である紹介率50%以上、逆紹介率70%以上の目標を達成した。</p> <p>【実績】紹介率及び逆紹介率（週期）</p> <table border="1" data-bbox="555 916 882 979"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>61.5%</td> <td>62.2%</td> <td>47.2%</td> <td>52.7%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>45.2%</td> <td>47.2%</td> <td>67.5%</td> <td>77.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※地域医療支援病院における算出方法による。（他科診療科を含む。）</p> <p>○他の医療機関との連携を図ることを目的に、各診療科、専門外来、紹介予約、PET/CT検診及びちよukaiネット等の案内を収録した「診療のご案内2015」（冊子）を作成し、県内及び秋田県・新潟県の一部の病院、診療所に配布した。</p> <p>○日本海総合病院は、山形県立こころの医療センターと平成26年度から締結している「医療連携及び緊急時の患者搬送措置に関する覚書」及び「医療観察保護法対象者の入院受入協定書」に基づき、医療観察法病棟等に入院した患者で、急性期医療が必要となった患者等の受入れに、引き続き備えた。</p> <p>○地域包括支援センターや地域の介護・福祉機関との連携を強化し、介護・福祉機関との積極的な情報交換や、退院時カンファレンスの取組みの強化等により、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービスの提供に努めた。</p> <p>【実績】担診件数（日本海総合病院）</p> <table border="1" data-bbox="555 1331 927 1385"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>担当科共同担当</td> <td>67件</td> <td>50件</td> <td>70件</td> <td>68件</td> </tr> <tr> <td>介護支援連携担当</td> <td>660件</td> <td>770件</td> <td>795件</td> <td>877件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】担診件数（酒田医療センター）</p> <table border="1" data-bbox="555 1394 927 1442"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護支援連携担当</td> <td>38件</td> <td>32件</td> <td>41件</td> <td>58件</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	H27	紹介率	61.5%	62.2%	47.2%	52.7%	逆紹介率	45.2%	47.2%	67.5%	77.5%		H24	H25	H26	H27	担当科共同担当	67件	50件	70件	68件	介護支援連携担当	660件	770件	795件	877件		H24	H25	H26	H27	介護支援連携担当	38件	32件	41件	58件	<p>◇日本海総合病院は地域医療支援病院としての役割を果たすとともに、他の医療機関との役割分担及び連携の強化が図られたか。</p> <p>◇介護・福祉機関へと切れ目のないサービスの提供に努めたか。</p>	<p>S ▽庄内地域の中核的な医療機関として、紹介・逆紹介を推進するため、「診療のご案内」の作成、配布に取り組み、地域の他の医療機関との役割分担及び連携の強化を図り、地域医療支援病院の指定要件である紹介率50%以上、逆紹介率70%以上の目標を達成することができた。</p> <p>A ▽患者の退院に際して、退院後に必要な介護サービス等について、他の施設の介護支援専門員と共同で指導等を行い、医療から介護・福祉へ切れ目のないサービスの提供に努めた。</p>	<p>S 自己評定のとおりに</p> <p>A 自己評定のとおりに</p>
	H24	H25	H26	H27																																								
紹介率	61.5%	62.2%	47.2%	52.7%																																								
逆紹介率	45.2%	47.2%	67.5%	77.5%																																								
	H24	H25	H26	H27																																								
担当科共同担当	67件	50件	70件	68件																																								
介護支援連携担当	660件	770件	795件	877件																																								
	H24	H25	H26	H27																																								
介護支援連携担当	38件	32件	41件	58件																																								

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成27年度・年度計画	平成27年度・年度実績	評価の視点	自己評定	委員会評定及び意見等																																																							
b) ITネットワークの活用	<p>○平成23年4月から稼働した「ちょうかいネット」について、利用する医療機関等の拡大を図った。新たに開示施設としてやまがた健康推進機構と連携し、健診情報の共有に向けて協議を行った。</p> <p>【実績】利用状況 ※各年度の3月31日現在</p> <table border="1" data-bbox="555 268 931 510"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院</td> <td>15施設</td> <td>16施設</td> <td>17施設</td> <td>20施設</td> </tr> <tr> <td>内科診療所</td> <td>53施設</td> <td>61施設</td> <td>62施設</td> <td>63施設</td> </tr> <tr> <td>歯科診療所</td> <td>6施設</td> <td>9施設</td> <td>14施設</td> <td>15施設</td> </tr> <tr> <td>調剤薬局</td> <td>11施設</td> <td>13施設</td> <td>13施設</td> <td>17施設</td> </tr> <tr> <td>介護老人保健施設</td> <td>4施設</td> <td>5施設</td> <td>6施設</td> <td>7施設</td> </tr> <tr> <td>訪問看護ステーション</td> <td>2施設</td> <td>3施設</td> <td>3施設</td> <td>5施設</td> </tr> <tr> <td>介護事業所</td> <td>0施設</td> <td>1施設</td> <td>29施設</td> <td>31施設</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1施設</td> <td>1施設</td> <td>1施設</td> <td>2施設</td> </tr> <tr> <td>利用施設 合計</td> <td>92施設</td> <td>109施設</td> <td>145施設</td> <td>160施設</td> </tr> <tr> <td>延べ登録患者数</td> <td>6,669名</td> <td>11,335名</td> <td>15,628名</td> <td>20,817名</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	H27	病院	15施設	16施設	17施設	20施設	内科診療所	53施設	61施設	62施設	63施設	歯科診療所	6施設	9施設	14施設	15施設	調剤薬局	11施設	13施設	13施設	17施設	介護老人保健施設	4施設	5施設	6施設	7施設	訪問看護ステーション	2施設	3施設	3施設	5施設	介護事業所	0施設	1施設	29施設	31施設	その他	1施設	1施設	1施設	2施設	利用施設 合計	92施設	109施設	145施設	160施設	延べ登録患者数	6,669名	11,335名	15,628名	20,817名	<p>◇利用医療機関等を拡大するとともに、登録患者数が増加したか。</p>	<p>S</p> <p>▽平成26年度と比較して、利用施設数が15施設増加するとともに、延べ登録患者数も約5,000名増加した。地域における医療・介護のネットワークが、「ちょうかいネット」を中心にして、着々と進展している。</p>	<p>S</p> <p>自己評定のとおり</p>
	H24	H25	H26	H27																																																							
病院	15施設	16施設	17施設	20施設																																																							
内科診療所	53施設	61施設	62施設	63施設																																																							
歯科診療所	6施設	9施設	14施設	15施設																																																							
調剤薬局	11施設	13施設	13施設	17施設																																																							
介護老人保健施設	4施設	5施設	6施設	7施設																																																							
訪問看護ステーション	2施設	3施設	3施設	5施設																																																							
介護事業所	0施設	1施設	29施設	31施設																																																							
その他	1施設	1施設	1施設	2施設																																																							
利用施設 合計	92施設	109施設	145施設	160施設																																																							
延べ登録患者数	6,669名	11,335名	15,628名	20,817名																																																							
c) 地域連携クリティカルパスの活用	<p>○「ちょうかいネット」を活用し、大腿骨頸部骨折、5大がん、前立腺がん、脳卒中の地域連携クリティカルパスの適用件数の増加に努めるとともに、病診連携を考慮した心臓リハビリテーションクリティカルパスを引き続き運用した。</p> <p>【実績】地域連携クリティカルパス適用件数</p> <table border="1" data-bbox="555 667 931 880"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肺がん</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>13件</td> <td>19件</td> <td>21件</td> <td>15件</td> </tr> <tr> <td>肝がん</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>24件</td> <td>18件</td> <td>14件</td> <td>17件</td> </tr> <tr> <td>胃がん</td> <td>9件</td> <td>27件</td> <td>19件</td> <td>24件</td> </tr> <tr> <td>大腿骨頸部骨折</td> <td>105件</td> <td>118件</td> <td>144件</td> <td>110件</td> </tr> <tr> <td>脳卒中</td> <td>92件</td> <td>290件</td> <td>246件</td> <td>226件</td> </tr> <tr> <td>心臓リハビリテーション</td> <td></td> <td></td> <td>87件</td> <td>112件</td> </tr> <tr> <td>前立腺がん</td> <td></td> <td></td> <td>17件</td> <td>48件</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	H27	肺がん	0件	0件	0件	0件	大腸がん	13件	19件	21件	15件	肝がん	0件	0件	0件	0件	乳がん	24件	18件	14件	17件	胃がん	9件	27件	19件	24件	大腿骨頸部骨折	105件	118件	144件	110件	脳卒中	92件	290件	246件	226件	心臓リハビリテーション			87件	112件	前立腺がん			17件	48件	<p>◇地域連携クリティカルパスの適用と運用が継続して推進されたか。</p>	<p>A</p> <p>▽地域連携クリティカルパス全体の適用、運用件数が、平成26年度と比較して4件増加した。患者負担の軽減及び他の医療機関との機能分担を図り、効率的かつ効果的な医療の提供に努めた。 平成26年度 548件 平成27年度 552件</p>	<p>A</p> <p>自己評定のとおり</p>					
	H24	H25	H26	H27																																																							
肺がん	0件	0件	0件	0件																																																							
大腸がん	13件	19件	21件	15件																																																							
肝がん	0件	0件	0件	0件																																																							
乳がん	24件	18件	14件	17件																																																							
胃がん	9件	27件	19件	24件																																																							
大腿骨頸部骨折	105件	118件	144件	110件																																																							
脳卒中	92件	290件	246件	226件																																																							
心臓リハビリテーション			87件	112件																																																							
前立腺がん			17件	48件																																																							
⑥ 庄内地域における医療水準の向上																																																											
・庄内地域の他の医療機関と交流を行い、連携強化を図る。	<p>○診療業務のため鶴岡市立庄内病院、酒田市立八幡病院、医療法人健友会本間病院に医師を派遣する等、庄内地域の他の医療機関との交流及び連携強化を図った。</p>	<p>◇庄内地域の他の医療機関等との連携強化を図ったか。</p>	<p>A</p> <p>▽情報交換等の交流だけでなく、実際に手術のために日本海総合病院から医師を派遣し、具体的な交流及び連携強化を図った。</p>	<p>A</p> <p>自己評定のとおり</p>																																																							
・平成23年度から日本海総合病院内に開設された山形大学医学部先端分子疫学研究所酒田分室について、調査活動に協力する。	<p>○平成23年度から日本海総合病院内に開設されている、山形大学医学部先端分子疫学研究所酒田分室について、継続して調査活動に協力した。</p>	<p>◇継続して調査活動に協力したか。</p>	<p>A</p> <p>▽継続して、当該研究所酒田分室の設置及び調査活動に協力した。</p>	<p>A</p> <p>自己評定のとおり</p>																																																							
・日本海総合病院は、酒田市立看護専門学校の実習施設としての役割を担う。	<p>○日本海総合病院は、酒田市立酒田看護専門学校の実習施設として93名の看護学生を受入れるとともに、他の専門学校等からも8名の看護学生を受入れた。</p>	<p>◇実習施設としての役割を果たしたか。</p>	<p>A</p> <p>▽酒田市立酒田看護専門学校の実習施設として、日本海総合病院の医師が講師を務めるとともに、その他の専門学校の学生を含め看護師が主体となって実習指導に務めた。</p>	<p>A</p> <p>自己評定のとおり</p>																																																							
・酒田市立看護専門学校の看護教員を育成する。	<p>○看護師1名を、群馬県立健康科学大学「看護教員養成課程」に派遣し、看護教員として育成した。</p>	<p>◇看護学生の教育体制の充実を図るため、看護教員を養成したか。</p>	<p>A</p> <p>▽看護師1名を看護教員として養成し、看護学生の教育体制の充実が図られた。</p>	<p>A</p> <p>自己評定のとおり</p>																																																							

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成27年度・年度計画	平成27年度・年度実績	評価の視点	自己評定	委員会評定及び意見等																														
<p>・地域の医療・介護従事者を含めた、各種研修会等を開催する。</p>	<p>○地域の医療従事者を含め、次のような研修会等を開催した。</p> <table border="1" data-bbox="555 181 949 836"> <thead> <tr> <th>実施日時</th> <th>題 名 内 容 等</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27.6.12 日本酒医会会報</td> <td>医療従事者 「高齢症治療と管理の実際」 平塚大学高齢学研究所センター医務部由利支部 門 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦</td> <td>257名 (うち院内6名)</td> </tr> <tr> <td>H27.7.22 日本酒医会会報</td> <td>緩和ケア勉強会 「がんの痛みを緩和する」 日本酒医会会報 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦</td> <td>112名 (うち院内29名)</td> </tr> <tr> <td>H27.8.7 日本酒医会会報</td> <td>緩和ケア勉強会 「がん診療連携の実際」 がん研究センター 緩和ケアセンター 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦</td> <td>110名 (うち院内25名)</td> </tr> <tr> <td>H27.10.20 日本酒医会会報</td> <td>特定研修会 「がん診療連携の実際」 酒田市立総合病院 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦</td> <td>60名 (うち院内5名)</td> </tr> <tr> <td>H27.10.23 日本酒医会会報</td> <td>特定研修会 「新型コロナウイルス感染症発生時に備えた院内感染対策」 山形大学医学部附属病院 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦</td> <td>246名 (うち院内25名)</td> </tr> <tr> <td>H27.11.4 日本酒医会会報</td> <td>緩和ケア勉強会 「緩和ケアの実際」 日本酒医会会報 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦</td> <td>118名 (うち院内11名)</td> </tr> <tr> <td>H27.12.4 日本酒医会会報</td> <td>緩和ケア勉強会 「緩和ケアの実際」 日本酒医会会報 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦</td> <td>169名 (うち院内100名)</td> </tr> <tr> <td>H28.1.13 日本酒医会会報</td> <td>緩和ケア勉強会 「緩和ケアの実際」 日本酒医会会報 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦</td> <td>97名 (うち院内34名)</td> </tr> <tr> <td>H28.1.22 日本酒医会会報</td> <td>特定研修会 「血液検査について」 日本ベクトン・ティッキングソン株式会社 院長 門田 敬彦</td> <td>393名 (うち院内0名)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○地域連携緩和ケア協議会を3回開催し、延べ138名(うち院外は延べ43名)が参加してワークショップ形式による症例検討を行った。</p>	実施日時	題 名 内 容 等	参加人数	H27.6.12 日本酒医会会報	医療従事者 「高齢症治療と管理の実際」 平塚大学高齢学研究所センター医務部由利支部 門 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦	257名 (うち院内6名)	H27.7.22 日本酒医会会報	緩和ケア勉強会 「がんの痛みを緩和する」 日本酒医会会報 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦	112名 (うち院内29名)	H27.8.7 日本酒医会会報	緩和ケア勉強会 「がん診療連携の実際」 がん研究センター 緩和ケアセンター 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦	110名 (うち院内25名)	H27.10.20 日本酒医会会報	特定研修会 「がん診療連携の実際」 酒田市立総合病院 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦	60名 (うち院内5名)	H27.10.23 日本酒医会会報	特定研修会 「新型コロナウイルス感染症発生時に備えた院内感染対策」 山形大学医学部附属病院 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦	246名 (うち院内25名)	H27.11.4 日本酒医会会報	緩和ケア勉強会 「緩和ケアの実際」 日本酒医会会報 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦	118名 (うち院内11名)	H27.12.4 日本酒医会会報	緩和ケア勉強会 「緩和ケアの実際」 日本酒医会会報 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦	169名 (うち院内100名)	H28.1.13 日本酒医会会報	緩和ケア勉強会 「緩和ケアの実際」 日本酒医会会報 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦	97名 (うち院内34名)	H28.1.22 日本酒医会会報	特定研修会 「血液検査について」 日本ベクトン・ティッキングソン株式会社 院長 門田 敬彦	393名 (うち院内0名)	<p>◇地域の医療・介護従事者を含めた研修会等を開催したか。</p>	<p>判定 A ▽緩和ケア及び感染対策を中心に研修会を9回開催し、他の施設の医療・介護従事者延べ317名の参加があった。緩和ケアに係る実際の症例検討を行うなど、地域の医療水準の向上に努めた。</p>	<p>判定 A 自己評定のとおり</p>
実施日時	題 名 内 容 等	参加人数																																
H27.6.12 日本酒医会会報	医療従事者 「高齢症治療と管理の実際」 平塚大学高齢学研究所センター医務部由利支部 門 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦	257名 (うち院内6名)																																
H27.7.22 日本酒医会会報	緩和ケア勉強会 「がんの痛みを緩和する」 日本酒医会会報 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦	112名 (うち院内29名)																																
H27.8.7 日本酒医会会報	緩和ケア勉強会 「がん診療連携の実際」 がん研究センター 緩和ケアセンター 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦	110名 (うち院内25名)																																
H27.10.20 日本酒医会会報	特定研修会 「がん診療連携の実際」 酒田市立総合病院 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦	60名 (うち院内5名)																																
H27.10.23 日本酒医会会報	特定研修会 「新型コロナウイルス感染症発生時に備えた院内感染対策」 山形大学医学部附属病院 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦	246名 (うち院内25名)																																
H27.11.4 日本酒医会会報	緩和ケア勉強会 「緩和ケアの実際」 日本酒医会会報 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦	118名 (うち院内11名)																																
H27.12.4 日本酒医会会報	緩和ケア勉強会 「緩和ケアの実際」 日本酒医会会報 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦	169名 (うち院内100名)																																
H28.1.13 日本酒医会会報	緩和ケア勉強会 「緩和ケアの実際」 日本酒医会会報 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦	97名 (うち院内34名)																																
H28.1.22 日本酒医会会報	特定研修会 「血液検査について」 日本ベクトン・ティッキングソン株式会社 院長 門田 敬彦	393名 (うち院内0名)																																
<p>⑦住民の意識の啓発</p>	<p>○地域の住民を対象に市民公開講座を開催し、乳がんに関する情報提供を行った。</p> <table border="1" data-bbox="555 994 949 1121"> <thead> <tr> <th>実施日時</th> <th>題 名 内 容 等</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27.8.23 ホテルリッツ 手ぬかり 酒田</td> <td>「乳がん治療一歩先の実際」 「乳がん検診について」 「キレイの魔法」 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦</td> <td>206名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○患者、地域住民向け及び関係者向け広報誌「あきほ」を年間4回発行し、住民等の医療や健康等に対する意識の啓発に努めた。</p>	実施日時	題 名 内 容 等	参加人数	H27.8.23 ホテルリッツ 手ぬかり 酒田	「乳がん治療一歩先の実際」 「乳がん検診について」 「キレイの魔法」 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦	206名	<p>◇健康意識の向上のため、地域住民に対し、啓発活動又は情報発信を行ったか。</p>	<p>判定 A ▽地域がん診療拠点病院として、市民公開講座を開催し、乳がん治療や乳房再建術について紹介するとともに、早期発見のための啓発活動を行った。▽病院広報誌「あきほ」を、年4回定期的に発行し、健康や治療に関する情報のほか、公的制度についても情報提供を行った。</p>	<p>判定 A 自己評定のとおり</p>																								
実施日時	題 名 内 容 等	参加人数																																
H27.8.23 ホテルリッツ 手ぬかり 酒田	「乳がん治療一歩先の実際」 「乳がん検診について」 「キレイの魔法」 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦	206名																																
<p>・他の機関が行う地域の医療従事者や住民に対するセミナー等への講師派遣についても積極的に行う。</p>	<p>○他の機関等が行う地域の医療従事者や住民に対するセミナー等について、講師の派遣を積極的に行った。</p> <table border="1" data-bbox="555 1265 949 1441"> <thead> <tr> <th>実施日時</th> <th>事 業 内 容 等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27.5.27</td> <td>平成27年度 酒田市健康講座</td> </tr> <tr> <td>H27.6.24</td> <td>①「足の動脈硬化症について」 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦</td> </tr> <tr> <td>H27.7.8</td> <td>②「がんの痛みを緩和する」 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦</td> </tr> <tr> <td>H27.7.8</td> <td>③「口のなかの病気を防いで健康になろう」 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦</td> </tr> <tr> <td>H27.7.28</td> <td>平成27年度 地域医療の発展に関する勉強会</td> </tr> <tr> <td>H27.7.28</td> <td>「家で安心して生活するために」 ～病院と在宅医療との連携について～</td> </tr> <tr> <td>H27.7.28</td> <td>院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦</td> </tr> </tbody> </table>	実施日時	事 業 内 容 等	H27.5.27	平成27年度 酒田市健康講座	H27.6.24	①「足の動脈硬化症について」 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦	H27.7.8	②「がんの痛みを緩和する」 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦	H27.7.8	③「口のなかの病気を防いで健康になろう」 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦	H27.7.28	平成27年度 地域医療の発展に関する勉強会	H27.7.28	「家で安心して生活するために」 ～病院と在宅医療との連携について～	H27.7.28	院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦	<p>◇他の機関が行ったセミナー等へ講師を派遣したか。</p>	<p>判定 A ▽要請に応じて、地域住民向けの講演会に講師を派遣した。</p>	<p>判定 A 自己評定のとおり</p>														
実施日時	事 業 内 容 等																																	
H27.5.27	平成27年度 酒田市健康講座																																	
H27.6.24	①「足の動脈硬化症について」 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦																																	
H27.7.8	②「がんの痛みを緩和する」 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦																																	
H27.7.8	③「口のなかの病気を防いで健康になろう」 院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦																																	
H27.7.28	平成27年度 地域医療の発展に関する勉強会																																	
H27.7.28	「家で安心して生活するために」 ～病院と在宅医療との連携について～																																	
H27.7.28	院長 門田 敬彦 院長 門田 敬彦																																	

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成27年度・年度計画	平成27年度・年度実績	評価の視点	自己評定	委員会評定及び意見等															
<b>(3) 患者・住民サービスの一層の向上</b>																			
<p>・日本海総合病院において、外来診療の待ち時間対策を検討する。</p>	<p>○待ち時間対策を含めた患者サービス向上対策の一環として、エントランス機能向上対策プロジェクトチームを立ち上げ、エントランスのリニューアルを行い、併せて、医療提供に伴う運用の変更等を行った。 ○外来採血室に採血・採尿受付システムを導入し、検査待ち時間の大幅な短縮を図った。</p>	<p>◇患者の視座に立ち、待ち時間対策を検討したか。</p>	<p>S ▽院内にプロジェクトチームを立ち上げて、エントランスに関連する業務の見直しを行い、エントランスホールのリニューアルを行った。 ▽採血・採尿受付システムの導入により、受付から検査終了までの時間が、患者一人当たり平均約7分短縮し、採血待ち患者が大幅に減少した。</p>	<p>S 自己評定のとおり</p>															
<p>・患者、利用者の意見・要望等を聞く投書箱を常設し、一層のサービス向上と業務改善に取組み、患者または住民本位のサービスの提供に努める。</p>	<p>○患者満足度向上委員会において、患者満足度アンケートを実施し、患者ニーズの把握に努めた。(外来で979件、病棟で248件の回答があった。) また、患者サービス向上の取り組みとして医療技術職員を中心に接遇マナー研修会(45名参加)を実施した。</p>	<p>◇サービス向上のため、患者ニーズの把握を行ったか。</p>	<p>A ▽日本海総合病院においてアンケート調査を行い、積極的に患者ニーズの把握に努めた。 ▽アンケート結果を受けて、接遇に対するご意見に対処するため、医療技術職員を中心に接遇マナー研修会を実施した。</p>	<p>A 自己評定のとおり</p>															
<p>・ホームページの充実による病院情報の発信力の強化を図る。</p>	<p>○SNS(フェイスブック、ツイッター)での情報発信と共に、ホームページのコンテンツの見直しを行い、発信力の強化を図った。</p>	<p>◇情報の発信力の強化を図ったか。</p>	<p>A ▽SNSを活用し、様々な情報を迅速に発信する一方で、正確な情報を提供するためのチェック体制を整備し、発信力の強化を図った。</p>	<p>A 自己評定のとおり</p>															
<p>・日本海総合病院において、一部の外来診察室ドアを引戸へ改修し、及び待合ホールの床を補修する。</p>	<p>○設備などの改修・補修を行い、次のとおり院内環境の整備を図った。</p> <table border="1" data-bbox="548 523 956 651"> <thead> <tr> <th>整備箇所等</th> <th>整備内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床床2階改修工事</td> <td>床材のはがれ等劣化が進んでいるため、張り替えを実施した。</td> </tr> <tr> <td>小児科診察室換気改良工事</td> <td>既存種の外来診察室の扉は押し扉で、入り口部分も狭かったため、扉イス等が入りしやすいう引き戸に改修を行った。</td> </tr> <tr> <td>特別室改修工事</td> <td>既存車庫(4階東西、5階東西)の特別室のユニットバス及びキッチンが劣化しているため、改修を行った。</td> </tr> </tbody> </table>	整備箇所等	整備内容	床床2階改修工事	床材のはがれ等劣化が進んでいるため、張り替えを実施した。	小児科診察室換気改良工事	既存種の外来診察室の扉は押し扉で、入り口部分も狭かったため、扉イス等が入りしやすいう引き戸に改修を行った。	特別室改修工事	既存車庫(4階東西、5階東西)の特別室のユニットバス及びキッチンが劣化しているため、改修を行った。	<p>◇患者等に配慮した環境整備を行ったか。</p>	<p>A ▽劣化の進んだ床材の張替えと、車椅子の患者に配慮した診察室扉の改修を実施し、診察室周辺の環境整備を行った。 ▽病棟特別室を改修し、入院環境の整備を行った。</p>	<p>A 自己評定のとおり</p>							
整備箇所等	整備内容																		
床床2階改修工事	床材のはがれ等劣化が進んでいるため、張り替えを実施した。																		
小児科診察室換気改良工事	既存種の外来診察室の扉は押し扉で、入り口部分も狭かったため、扉イス等が入りしやすいう引き戸に改修を行った。																		
特別室改修工事	既存車庫(4階東西、5階東西)の特別室のユニットバス及びキッチンが劣化しているため、改修を行った。																		
<p>・重症心身障がい児(者)短期入所事業について、日本海総合病院の空床を利用し継続して実施する。</p>	<p>○平成20年度から継続して重症心身障がい児(者)短期入所事業を行った。 【実績】延べ利用者数</p> <table border="1" data-bbox="548 715 817 746"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>28名</td> <td>14名</td> <td>21名</td> <td>21名</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	H27	延べ利用者数	28名	14名	21名	21名	<p>◇継続して短期入所事業を行い、障がい児(者)の家族の負担軽減を図ったか。</p>	<p>A ▽区内地域で唯一の施設であり、継続して事業を行い、障がい児(者)を持つ家族の負担軽減を図った。</p>	<p>A 自己評定のとおり</p>					
	H24	H25	H26	H27															
延べ利用者数	28名	14名	21名	21名															
<p>・酒田市からの受託事業である病児・病後児保育事業を、日本海総合病院院内保育所「あきほ保育園」(以下、「あきほ保育園」という。)において実施するとともに、酒田市と遊佐町、庄内町及び三川町との「庄内北部定住自立圏形成協定」に基づき、酒田市以外の乳幼児等も受け入れる。</p>	<p>○病児・病後児保育事業を酒田市から受託し、「あきほ病児・病後児保育所」において継続して当該事業を行った。また、酒田市以外の乳幼児等も受け入れた。 【実績】病児・病後児保育事業延べ利用者数</p> <table border="1" data-bbox="548 826 929 906"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>304名</td> <td>233名</td> <td>291名</td> <td>263名</td> </tr> <tr> <td>(うち酒田市以外の乳幼児)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>(2名)</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	H27	延べ利用者数	304名	233名	291名	263名	(うち酒田市以外の乳幼児)	—	—	—	(2名)	<p>◇継続して病児・病後児事業を受託し、地域住民へのサービス提供を行うとともに、酒田市以外の乳幼児の受入を行ったか。</p>	<p>A ▽日曜日、祝日、年末年始休業を除き、通年で事業を実施した。 ▽「庄内北部定住自立圏形成協定」に基づき、酒田市以外の乳幼児を2名受け入れた。</p>	<p>A 自己評定のとおり</p>
	H24	H25	H26	H27															
延べ利用者数	304名	233名	291名	263名															
(うち酒田市以外の乳幼児)	—	—	—	(2名)															
<p>・親しみと信頼のある地域密着型の病院づくりをめざし、地域交流事業として病院祭「あきほ祭り」及び即売施設「あきほ市」を開催する。</p>	<p>○地域交流事業として9月に「あきほ祭り」を催し、酒田地区医師会に加え鶴岡地区医師会の協賛によるバザーを開催した。また、展示即売施設「あきほ市」については、常設即売施設として継続して運営を行った。</p>	<p>◇地域密着型で親しみがあり、信頼される病院づくりに取組んだか。</p>	<p>A ▽日本海総合病院で、地域交流事業を実施し約1,400名(推計)の来場があった。患者やその家族、来院者、出店者等地域の多くの方々にとって親しみと信頼のある病院づくりに取組んだ。</p>	<p>A 自己評定のとおり</p>															
<b>(4) 法令等の遵守と情報公開の推進</b>																			
<p>・基本理念、倫理綱領及び病院運営方針の周知を図る。</p>	<p>○平成24年度に定めた基本理念等を、職員研修の場で周知を図るとともに、「病院概要」や「診療のご案内」、また、ホームページ等も活用し、内外に広く周知を図った。</p>	<p>◇基本理念等の周知を行ったか。</p>	<p>A ▽「医療人」の育成及び患者や地域住民等との信頼関係の構築のため、職員研修で周知を図るとともに、ホームページによるPRに加え、新たに作成した「診療のご案内」に掲載し、他の医療機関への周知も行った。</p>	<p>A 自己評定のとおり</p>															
<p>・医療情報のセキュリティ向上のため職員、委託職員を対象に院内研修を実施する。また、「ちようかいネット」を利用している医療機関等に対しても研修を実施する。</p>	<p>○新規採用職員(42名)と看護部職員(717名)に重点を置き、セキュリティ研修を実施した。対象者759名のうち、507名が受講した。 ○「ちようかいネット」を利用している医療機関等に対し、情報セキュリティ研修を実施した。対象施設105施設のうち、14施設27名が受講した。</p>	<p>◇医療情報のセキュリティ向上のため、全職員及び委託職員に周知を図ったか。 ◇「ちようかいネット」を利用する医療機関等に対し研修を実施したか。</p>	<p>B ▽平成24年度は研修会で、平成25年度はe-ラーニング方式で、平成26年度はセキュリティポリシーの配布と自己評価によって、情報セキュリティの向上に努めてきた。今年度は、より効果的な研修とするため、対象を絞って実施した。 ▽「ちようかいネット」を利用する医療機関等に対し研修を実施し、医療情報又は個人情報の取扱いにおける危険性を、利用している医師等から再認識していただいた。平成27年度は、参加できなかった医療機関等に、資料を配布してフォローアップも行った。</p>	<p>B 自己評定のとおり</p>															
<p>・インフォームド・コンセントを徹底するほか、カルテ・レセプト等医療情報の開示については、山形県情報公開条例及び個人情報保護条例の適用のもとに、県の機関に準じて行う。</p>	<p>○インフォームド・コンセントを徹底するほか、カルテ等医療情報の開示については、山形県情報公開条例及び個人情報保護条例の適用のもとに、県の機関に準じて行った。 【実績】診療情報提供申出件数</p> <table border="1" data-bbox="548 1433 943 1495"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本海総合病院</td> <td>46件</td> <td>70件</td> <td>64件</td> <td>74件</td> </tr> <tr> <td>酒田医療センター</td> <td>7件</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>3件</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	H27	日本海総合病院	46件	70件	64件	74件	酒田医療センター	7件	2件	2件	3件	<p>◇情報開示請求等に、適切に対応したか。</p>	<p>A ▽県の機関に準じて、適切に対応した。</p>	<p>A 自己評定のとおり</p>
	H24	H25	H26	H27															
日本海総合病院	46件	70件	64件	74件															
酒田医療センター	7件	2件	2件	3件															

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成27年度・年度計画	平成27年度・年度実績	評価の視点	自己評価	委員会評価及び意見等																																																						
<p>(5) 医療安全対策の充実・強化</p> <p>・インシデントレポートの収集、分析及びリスク回避の方策について検討し、院内研修会や定期的な院内広報の発行などにより周知し、患者安全管理体制の推進・強化に努める。</p>	<p>○患者安全管理体制の推進・強化を図るため、医療安全対策委員会を中心に次のような活動を行った。</p> <table border="1"> <tr> <th>実施日時</th> <th>研修内容</th> <th>参加人数</th> </tr> <tr> <td>H27.8.7 日本赤十字病院医務部</td> <td>「睡眠薬の適正使用」 エーザイ株式会社 エーザイ・ジャパン地域包括Home ユニット総合マーケティング部 小野田 晋 氏</td> <td>187名</td> </tr> <tr> <td>H27.8.7 日本赤十字病院医務部</td> <td>「医療事故調査報告書」講習会 1)「医療事故調査報告書作成までのあらすじと現状」 医療法人尚志会理事長 日本赤十字会 常務理事 西原安全部会長 小田原良治 先生 2)「医療法21条適用「外見要件」と医療安全パラダイムシフトの特長「非識別加工」」 医療法人社団いつき会 パーソナルニック 院長 佐藤一由 先生 3)「気づけなかった患者の苦しみ(院内事故と院内感染の取扱いの思いを贈るまで)」 井上法律事務所 所長 井上清成 氏</td> <td>214名 15名 計229名</td> </tr> <tr> <td>H28.2.27 日本赤十字病院医務部</td> <td>「自衛インシデント事例より学ぶ～コメディカルからの発信～」 緑血堂、間接検査室、放射線検査室、MRI室</td> <td>231名</td> </tr> </table> <p>○医療安全管理者を中心に、各部署の医療安全推進者(リスクマネージャー)と連携しながら、インシデントの事例共有、分析、改善策を検討し、医療安全対策の一層の向上に努めた。</p>	実施日時	研修内容	参加人数	H27.8.7 日本赤十字病院医務部	「睡眠薬の適正使用」 エーザイ株式会社 エーザイ・ジャパン地域包括Home ユニット総合マーケティング部 小野田 晋 氏	187名	H27.8.7 日本赤十字病院医務部	「医療事故調査報告書」講習会 1)「医療事故調査報告書作成までのあらすじと現状」 医療法人尚志会理事長 日本赤十字会 常務理事 西原安全部会長 小田原良治 先生 2)「医療法21条適用「外見要件」と医療安全パラダイムシフトの特長「非識別加工」」 医療法人社団いつき会 パーソナルニック 院長 佐藤一由 先生 3)「気づけなかった患者の苦しみ(院内事故と院内感染の取扱いの思いを贈るまで)」 井上法律事務所 所長 井上清成 氏	214名 15名 計229名	H28.2.27 日本赤十字病院医務部	「自衛インシデント事例より学ぶ～コメディカルからの発信～」 緑血堂、間接検査室、放射線検査室、MRI室	231名	<p>◇医療安全対策委員会を中心とした活動により、管理体制の推進と強化を図ったか。</p> <p>◇医療安全管理者を中心に、リスクマネージャーと連携し、医療安全対策の一層の向上を図ったか。</p>	<p>判定</p> <p>A</p> <p>▽研修会や院内広報の発行など、積極的な情報発信を行い、医療安全の推進及び強化を図った。 ▽医療安全管理者を中心とし、リスクマネージャーとの連携又はリスクマネージャー同士の連携により、医療安全対策の一層の向上を図った。</p>	<p>判定</p> <p>A</p> <p>自己評価のとおり</p>																																										
実施日時	研修内容	参加人数																																																								
H27.8.7 日本赤十字病院医務部	「睡眠薬の適正使用」 エーザイ株式会社 エーザイ・ジャパン地域包括Home ユニット総合マーケティング部 小野田 晋 氏	187名																																																								
H27.8.7 日本赤十字病院医務部	「医療事故調査報告書」講習会 1)「医療事故調査報告書作成までのあらすじと現状」 医療法人尚志会理事長 日本赤十字会 常務理事 西原安全部会長 小田原良治 先生 2)「医療法21条適用「外見要件」と医療安全パラダイムシフトの特長「非識別加工」」 医療法人社団いつき会 パーソナルニック 院長 佐藤一由 先生 3)「気づけなかった患者の苦しみ(院内事故と院内感染の取扱いの思いを贈るまで)」 井上法律事務所 所長 井上清成 氏	214名 15名 計229名																																																								
H28.2.27 日本赤十字病院医務部	「自衛インシデント事例より学ぶ～コメディカルからの発信～」 緑血堂、間接検査室、放射線検査室、MRI室	231名																																																								
<p>2 人員配置の弾力的運用</p> <p>(1) 負担軽減</p> <p>・医師の負担軽減を図るため、医師事務作業補助者を活用する。</p> <p>・看護師の負担軽減を図るため、看護補助者及び事務補助者を活用する。</p>	<p>○医師の負担軽減を図るため、引続き各病棟などに医療クラークを配置した。</p> <p>【実績】医療クラークの配置数</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> <tr> <td></td> <td>59名</td> <td>54名</td> <td>52名</td> <td>60名</td> </tr> </table> <p>○看護師の負担軽減を図るため、看護補助者及び事務補助者を配置した。</p> <p>【実績】補助者の配置状況</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H24</th> <th colspan="2">H25</th> <th colspan="2">H26</th> <th colspan="2">H27</th> </tr> <tr> <th>看護補助者</th> <th>事務補助者</th> <th>看護補助者</th> <th>事務補助者</th> <th>看護補助者</th> <th>事務補助者</th> <th>看護補助者</th> <th>事務補助者</th> </tr> <tr> <td>病棟</td> <td>64名</td> <td>14名</td> <td>67名</td> <td>16名</td> <td>64名</td> <td>12名</td> <td>60名</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>18名</td> <td>8名</td> <td>20名</td> <td>11名</td> <td>22名</td> <td>18名</td> <td>20名</td> <td>18名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>84名</td> <td>22名</td> <td>87名</td> <td>27名</td> <td>86名</td> <td>30名</td> <td>80名</td> <td>30名</td> </tr> </table> <p>○病棟看護師について、新たな交代制勤務の施行について検討する。</p> <p>○病棟看護師の負担軽減に資するため、平成27年11月から、4階南病棟において二交代制勤務の試行を開始した。</p>		H24	H25	H26	H27		59名	54名	52名	60名		H24		H25		H26		H27		看護補助者	事務補助者	看護補助者	事務補助者	看護補助者	事務補助者	看護補助者	事務補助者	病棟	64名	14名	67名	16名	64名	12名	60名	12名	その他	18名	8名	20名	11名	22名	18名	20名	18名	合計	84名	22名	87名	27名	86名	30名	80名	30名	<p>◇引続き医師事務作業補助者を配置したか。</p> <p>◇引続き看護補助者及び事務補助者を配置したか。</p> <p>◇新たな交代制勤務の施行について検討したか。</p>	<p>判定</p> <p>A</p> <p>▽医師事務作業補助者を効果的に配置して、引続き医師が本来の業務に専念できるよう負担軽減を図った。</p> <p>A</p> <p>▽看護補助者及び事務補助者を増員して、看護師が本来の業務に専念できるよう負担軽減を図った。</p> <p>A</p> <p>▽二交代制勤務の導入について検討し、業務上の問題抽出と意見集約を行い、業務内容やタイムテーブルの修正を図りながら、試行を行っている。</p>	<p>判定</p> <p>A</p> <p>自己評価のとおり</p> <p>A</p> <p>自己評価のとおり</p> <p>A</p> <p>自己評価のとおり</p>
	H24	H25	H26	H27																																																						
	59名	54名	52名	60名																																																						
	H24		H25		H26		H27																																																			
	看護補助者	事務補助者	看護補助者	事務補助者	看護補助者	事務補助者	看護補助者	事務補助者																																																		
病棟	64名	14名	67名	16名	64名	12名	60名	12名																																																		
その他	18名	8名	20名	11名	22名	18名	20名	18名																																																		
合計	84名	22名	87名	27名	86名	30名	80名	30名																																																		
<p>(2) 障がい者雇用</p> <p>・障害者雇用促進法に基づき、利用率2.3%以上の確保に努め、障がい者の雇用促進及び職業安定に寄与し、その有効活用を行う。</p>	<p>○障害者雇用促進法に基づき、障がい者の雇用促進及び有効活用を努めた。</p> <p>【実績】利用率</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>6.6%</td> <td>1.47%</td> <td>1.71%</td> </tr> </table>		H25	H26	H27	○	6.6%	1.47%	1.71%	<p>◇雇用の確保に努めたか。</p>	<p>判定</p> <p>A</p> <p>▽ハローワークを通して臨時職員を募集し、障がい者の雇用促進に努めた。</p>	<p>判定</p> <p>A</p> <p>自己評価のとおり</p>																																														
	H25	H26	H27																																																							
○	6.6%	1.47%	1.71%																																																							



地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成27年度・年度計画		平成27年度・年度実績		評価の視点		自己評定		委員会評定及び意見等																																																																																																																																								
<p><b>3 施設整備及び医療機器等の整備計画</b></p>																																																																																																																																																
<p>(単位：百万円)</p> <table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>定 額</th> <th>財 源</th> </tr> <tr> <td>資本支出</td> <td></td> <td>設立団体のからの長期借入金等</td> </tr> <tr> <td>建設改良費</td> <td>704</td> <td></td> </tr> <tr> <td>医療機器整備</td> <td>568</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他(改修工事等)</td> <td>136</td> <td></td> </tr> </table>										区 分	定 額	財 源	資本支出		設立団体のからの長期借入金等	建設改良費	704		医療機器整備	568		その他(改修工事等)	136																																																																																																																									
区 分	定 額	財 源																																																																																																																																														
資本支出		設立団体のからの長期借入金等																																																																																																																																														
建設改良費	704																																																																																																																																															
医療機器整備	568																																																																																																																																															
その他(改修工事等)	136																																																																																																																																															
<p><b>(1) 高度医療機器の計画的な更新・整備</b></p>																																																																																																																																																
<p>・高度専門医療等の充実のため、次のとおり高度医療機器の更新・整備を行う。</p>		<p>○高度専門医療等の充実のため、高度医療機器の更新・整備を行った。</p>		<p>◇費用対効果を含め総合的に判断し、高度医療機器等の更新・整備を行った。</p>		<p>A</p>		<p>A</p>																																																																																																																																								
<p>(単位：百万円)</p> <table border="1"> <tr> <th>病 院 名</th> <th>事業費</th> <th>医療機器の名称(附記)</th> </tr> <tr> <td>日本海総合病院</td> <td>300</td> <td>顕像系X線診断装置、デジタルX線TVシステム(長期借入金)</td> </tr> <tr> <td>酒田医療センター</td> <td>251</td> <td>その他更新機器等(長期借入金等)</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>551</td> <td></td> </tr> </table>		病 院 名	事業費	医療機器の名称(附記)	日本海総合病院	300	顕像系X線診断装置、デジタルX線TVシステム(長期借入金)	酒田医療センター	251	その他更新機器等(長期借入金等)	合 計	551		<p>(単位：百万円)</p> <table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>執行額</th> <th>財 源</th> </tr> <tr> <td>資本支出</td> <td></td> <td>設立団体からの長期借入金、国費、県費及び自己資金</td> </tr> <tr> <td>建設改良費</td> <td>609</td> <td></td> </tr> <tr> <td>医療機器整備</td> <td>571</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他(改修工事等)</td> <td>98</td> <td></td> </tr> </table>		区 分	執行額	財 源	資本支出		設立団体からの長期借入金、国費、県費及び自己資金	建設改良費	609		医療機器整備	571		その他(改修工事等)	98		<p>▽高度医療機器の更新等に当たっては、起債を活用し、計画的に行った。 ▽採血・採尿受付システムの導入に当たっては、検査待ち時間の短縮と、職員の業務効率化等の効果を含めて検討した。</p>		<p>A</p>		<p>自己評定のとおり</p>																																																																																																													
病 院 名	事業費	医療機器の名称(附記)																																																																																																																																														
日本海総合病院	300	顕像系X線診断装置、デジタルX線TVシステム(長期借入金)																																																																																																																																														
酒田医療センター	251	その他更新機器等(長期借入金等)																																																																																																																																														
合 計	551																																																																																																																																															
区 分	執行額	財 源																																																																																																																																														
資本支出		設立団体からの長期借入金、国費、県費及び自己資金																																																																																																																																														
建設改良費	609																																																																																																																																															
医療機器整備	571																																																																																																																																															
その他(改修工事等)	98																																																																																																																																															
<p>・高度医療機器の更新・整備に当たっては、医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断して進めるものとする。</p>		<p>○高度専門医療等の充実のため、平成27年度は次のとおり高度医療機器の更新・整備を行った。</p>		<table border="1"> <tr> <th>医療科</th> <th>機 器 名</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>放射線科</td> <td>造影剤X線診断装置</td> <td>更新</td> </tr> <tr> <td>放射線科</td> <td>デジタルX線TVシステム</td> <td>更新</td> </tr> <tr> <td>検査科</td> <td>採血採尿受付システム</td> <td>新設</td> </tr> <tr> <td>内 科</td> <td>薬剤管理支援システムほか</td> <td>更新</td> </tr> </table>		医療科	機 器 名	備 考	放射線科	造影剤X線診断装置	更新	放射線科	デジタルX線TVシステム	更新	検査科	採血採尿受付システム	新設	内 科	薬剤管理支援システムほか	更新	<p>A</p>		<p>A</p>																																																																																																																									
医療科	機 器 名	備 考																																																																																																																																														
放射線科	造影剤X線診断装置	更新																																																																																																																																														
放射線科	デジタルX線TVシステム	更新																																																																																																																																														
検査科	採血採尿受付システム	新設																																																																																																																																														
内 科	薬剤管理支援システムほか	更新																																																																																																																																														
<p><b>(2) 建物総合診断</b></p>																																																																																																																																																
<p>・日本海総合病院は、建物総合診断の結果を踏まえて、修繕計画を検討する。</p>		<p>○将来の大規模修繕を見据えて実施した建物総合診断の結果を踏まえ、中長期修繕計画を策定した。</p>		<p>◇建物総合診断を踏まえた、中長期修繕計画を策定したか。</p>		<p>A</p>		<p>A</p>																																																																																																																																								
<p><b>4 患者数の見込みと予算・収支計画・資金計画</b></p>																																																																																																																																																
<p><b>(1) 患者数の見込み</b></p>																																																																																																																																																
<p>(単位：床、人、%)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">平成27年度</th> <th colspan="3">平成26年度</th> </tr> <tr> <th>日本海</th> <th>酒 田</th> <th>合 計</th> <th>日本海</th> <th>酒 田</th> <th>合 計</th> </tr> <tr> <td>新規受入</td> <td>5630</td> <td>114</td> <td>744</td> <td>646</td> <td>114</td> <td>760</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>502.1</td> <td>102.6</td> <td>604.7</td> <td>529.2</td> <td>99.8</td> <td>629.0</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>79.7</td> <td>90.0</td> <td></td> <td>81.8</td> <td>87.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>1,363.7</td> <td>3.3</td> <td>1,367.0</td> <td>1,373.2</td> <td>3.5</td> <td>1,376.7</td> </tr> </table> <p>※許可病床数1,646床である。</p>			平成27年度			平成26年度			日本海	酒 田	合 計	日本海	酒 田	合 計	新規受入	5630	114	744	646	114	760	入院	502.1	102.6	604.7	529.2	99.8	629.0	病床利用率	79.7	90.0		81.8	87.6		外来	1,363.7	3.3	1,367.0	1,373.2	3.5	1,376.7	<p>(1) 患者数</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="3">日本海総合病院</th> <th colspan="3">酒田医療センター</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>H25</th> <th>H27</th> <th>増減</th> <th>H25</th> <th>H27</th> <th>増減</th> </tr> <tr> <td>病床数</td> <td>155,777</td> <td>190,458</td> <td>3,185</td> <td>34,237</td> <td>35,438</td> <td>1,249</td> <td>179,510</td> </tr> <tr> <td>実床利用率</td> <td>46.28%</td> <td>16.75%</td> <td>△42</td> <td>62%</td> <td>57%</td> <td>△3</td> <td>16,920</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>502,7</td> <td>670,4</td> <td>12,7</td> <td>93,0</td> <td>97,0</td> <td>3,2</td> <td>601,3</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>59.8</td> <td>60.6</td> <td>2.0</td> <td>82.3</td> <td>83.0</td> <td>2.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>768.0</td> <td>260.7</td> <td>△61</td> <td>53.9</td> <td>49.3</td> <td>△4.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>11.4</td> <td>11.7</td> <td>0.2</td> <td>36.4</td> <td>61.6</td> <td>2.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>日当り患者数</td> <td>313,749</td> <td>340,673</td> <td>7,274</td> <td>320</td> <td>610</td> <td>△13</td> <td>324,077</td> </tr> <tr> <td>日当り患者数</td> <td>29,767</td> <td>27,310</td> <td>7,311</td> <td>45</td> <td>39</td> <td>16</td> <td>29,850</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>1,395.0</td> <td>1,402.0</td> <td>36.4</td> <td>3.4</td> <td>3.3</td> <td>△0.1</td> <td>1,399.2</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>646</td> <td>646</td> <td>0</td> <td>114</td> <td>114</td> <td>0</td> <td>760</td> </tr> </table>		区 分	日本海総合病院			酒田医療センター			計	H25	H27	増減	H25	H27	増減	病床数	155,777	190,458	3,185	34,237	35,438	1,249	179,510	実床利用率	46.28%	16.75%	△42	62%	57%	△3	16,920	入院患者数	502,7	670,4	12,7	93,0	97,0	3,2	601,3	病床利用率	59.8	60.6	2.0	82.3	83.0	2.7		病床利用率	768.0	260.7	△61	53.9	49.3	△4.4		病床利用率	11.4	11.7	0.2	36.4	61.6	2.2		日当り患者数	313,749	340,673	7,274	320	610	△13	324,077	日当り患者数	29,767	27,310	7,311	45	39	16	29,850	病床利用率	1,395.0	1,402.0	36.4	3.4	3.3	△0.1	1,399.2	病床利用率	646	646	0	114	114	0	760	<p>◇経常収支比率が100%以上を達成し、かつ、平成21年度における全国の黒字病院の平均値である人件費比率49.2%、材料費比率27.6%以下を達成することができたか。</p>		<p>S</p>		<p>S</p>	
	平成27年度			平成26年度																																																																																																																																												
	日本海	酒 田	合 計	日本海	酒 田	合 計																																																																																																																																										
新規受入	5630	114	744	646	114	760																																																																																																																																										
入院	502.1	102.6	604.7	529.2	99.8	629.0																																																																																																																																										
病床利用率	79.7	90.0		81.8	87.6																																																																																																																																											
外来	1,363.7	3.3	1,367.0	1,373.2	3.5	1,376.7																																																																																																																																										
区 分	日本海総合病院			酒田医療センター			計																																																																																																																																									
	H25	H27	増減	H25	H27	増減																																																																																																																																										
病床数	155,777	190,458	3,185	34,237	35,438	1,249	179,510																																																																																																																																									
実床利用率	46.28%	16.75%	△42	62%	57%	△3	16,920																																																																																																																																									
入院患者数	502,7	670,4	12,7	93,0	97,0	3,2	601,3																																																																																																																																									
病床利用率	59.8	60.6	2.0	82.3	83.0	2.7																																																																																																																																										
病床利用率	768.0	260.7	△61	53.9	49.3	△4.4																																																																																																																																										
病床利用率	11.4	11.7	0.2	36.4	61.6	2.2																																																																																																																																										
日当り患者数	313,749	340,673	7,274	320	610	△13	324,077																																																																																																																																									
日当り患者数	29,767	27,310	7,311	45	39	16	29,850																																																																																																																																									
病床利用率	1,395.0	1,402.0	36.4	3.4	3.3	△0.1	1,399.2																																																																																																																																									
病床利用率	646	646	0	114	114	0	760																																																																																																																																									
<p>▽営業収支比率104.4%、経常収支比率102.6%、人件費比率46.3%、材料費比率24.5%で、目標を達成することができた。 ▽法人全体で、8億1千万円の純利益を計上し、平成20年度の統合再編以降、最高額を更新するとともに、8期連続して純利益を計上することができた。</p>		<p>自己評定のとおり</p>																																																																																																																																														
<p><b>(2) 患者一人当たりの診療単価</b></p>																																																																																																																																																
<p>(単位：円)</p> <table border="1"> <tr> <th>日本海総合病院</th> <th>H25</th> <th>H27</th> <th>増 減</th> <th>酒田医療センター</th> <th>H25</th> <th>H27</th> <th>増 減</th> </tr> <tr> <td>人 均</td> <td>81,017</td> <td>62,990</td> <td>1,978</td> <td>入 部</td> <td>74,101</td> <td>26,558</td> <td>2,454</td> </tr> <tr> <td>外 来</td> <td>13,035</td> <td>14,713</td> <td>1,638</td> <td>外 来</td> <td>5,067</td> <td>3,574</td> <td>507</td> </tr> </table>		日本海総合病院	H25	H27	増 減	酒田医療センター	H25	H27	増 減	人 均	81,017	62,990	1,978	入 部	74,101	26,558	2,454	外 来	13,035	14,713	1,638	外 来	5,067	3,574	507	<p>自己評定のとおり</p>																																																																																																																						
日本海総合病院	H25	H27	増 減	酒田医療センター	H25	H27	増 減																																																																																																																																									
人 均	81,017	62,990	1,978	入 部	74,101	26,558	2,454																																																																																																																																									
外 来	13,035	14,713	1,638	外 来	5,067	3,574	507																																																																																																																																									

平成27年度・年度計画				平成27年度・年度実績				評価の視点		判定	自己評定	判定	委員会評定及び意見等																																																																																																																																																												
<b>(2) 予算(平成27年度)</b>				<b>(3) 予算及び決算</b>																																																																																																																																																																					
(単位:百万円)				(単位:百万円)																																																																																																																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>日本海</th> <th>酒田</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>19,602</td> <td>1,170</td> <td>20,772</td> </tr> <tr> <td>営業収益</td> <td>16,769</td> <td>993</td> <td>17,762</td> </tr> <tr> <td>  医療収益</td> <td>16,181</td> <td>976</td> <td>17,157</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金</td> <td>588</td> <td>17</td> <td>605</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>1,000</td> <td>95</td> <td>1,095</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金等</td> <td>839</td> <td>85</td> <td>924</td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>161</td> <td>10</td> <td>171</td> </tr> <tr> <td>臨時利益</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>資本収入</td> <td>1,831</td> <td>82</td> <td>1,913</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金</td> <td>1,166</td> <td>47</td> <td>1,213</td> </tr> <tr> <td>  長期借入金</td> <td>663</td> <td>15</td> <td>678</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>18,734</td> <td>1,202</td> <td>19,936</td> </tr> <tr> <td>営業費用</td> <td>16,724</td> <td>1,063</td> <td>16,787</td> </tr> <tr> <td>  医療費用</td> <td>15,527</td> <td>1,063</td> <td>16,590</td> </tr> <tr> <td>    給与費</td> <td>8,268</td> <td>719</td> <td>8,987</td> </tr> <tr> <td>    材料費</td> <td>1,427</td> <td>30</td> <td>1,457</td> </tr> <tr> <td>    経費</td> <td>2,724</td> <td>307</td> <td>3,031</td> </tr> <tr> <td>    研究研修費</td> <td>108</td> <td>7</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>    一般管理費</td> <td>197</td> <td></td> <td>197</td> </tr> <tr> <td>  営業外費用</td> <td>345</td> <td>16</td> <td>361</td> </tr> <tr> <td>臨時損失</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>資本支出</td> <td>2,665</td> <td>123</td> <td>2,788</td> </tr> <tr> <td>  施設改良費</td> <td>687</td> <td>17</td> <td>704</td> </tr> <tr> <td>  長期借入金返済金</td> <td>1,972</td> <td>106</td> <td>2,078</td> </tr> <tr> <td>  奨学金貸付</td> <td>5</td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>				区分	日本海	酒田	合計	収入	19,602	1,170	20,772	営業収益	16,769	993	17,762	医療収益	16,181	976	17,157	運営費負担金	588	17	605	営業外収益	1,000	95	1,095	運営費負担金等	839	85	924	その他	161	10	171	臨時利益	2	0	2	資本収入	1,831	82	1,913	運営費負担金	1,166	47	1,213	長期借入金	663	15	678	支出	18,734	1,202	19,936	営業費用	16,724	1,063	16,787	医療費用	15,527	1,063	16,590	給与費	8,268	719	8,987	材料費	1,427	30	1,457	経費	2,724	307	3,031	研究研修費	108	7	115	一般管理費	197		197	営業外費用	345	16	361	臨時損失	0	0	0	資本支出	2,665	123	2,788	施設改良費	687	17	704	長期借入金返済金	1,972	106	2,078	奨学金貸付	5		5	その他	1	0	1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額 (当分)</th> <th>決算額</th> <th>差額 決算-予算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>20,772</td> <td>22,097</td> <td>1,325</td> </tr> <tr> <td>営業収益</td> <td>17,762</td> <td>19,122</td> <td>1,360</td> </tr> <tr> <td>  営業収入</td> <td>17,157</td> <td>18,557</td> <td>1,380</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金</td> <td>605</td> <td>565</td> <td>△20</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>1,095</td> <td>1,106</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金等</td> <td>924</td> <td>912</td> <td>△12</td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>171</td> <td>184</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>資本収入</td> <td>1,913</td> <td>1,865</td> <td>△48</td> </tr> <tr> <td>  借付金の収入</td> <td>1,235</td> <td>1,236</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>  長期借入金</td> <td>678</td> <td>629</td> <td>△49</td> </tr> <tr> <td>その他の収入</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>				区分	予算額 (当分)	決算額	差額 決算-予算	収入	20,772	22,097	1,325	営業収益	17,762	19,122	1,360	営業収入	17,157	18,557	1,380	運営費負担金	605	565	△20	営業外収益	1,095	1,106	11	運営費負担金等	924	912	△12	その他	171	184	23	資本収入	1,913	1,865	△48	借付金の収入	1,235	1,236	1	長期借入金	678	629	△49	その他の収入	2	5	3						
区分	日本海	酒田	合計																																																																																																																																																																						
収入	19,602	1,170	20,772																																																																																																																																																																						
営業収益	16,769	993	17,762																																																																																																																																																																						
医療収益	16,181	976	17,157																																																																																																																																																																						
運営費負担金	588	17	605																																																																																																																																																																						
営業外収益	1,000	95	1,095																																																																																																																																																																						
運営費負担金等	839	85	924																																																																																																																																																																						
その他	161	10	171																																																																																																																																																																						
臨時利益	2	0	2																																																																																																																																																																						
資本収入	1,831	82	1,913																																																																																																																																																																						
運営費負担金	1,166	47	1,213																																																																																																																																																																						
長期借入金	663	15	678																																																																																																																																																																						
支出	18,734	1,202	19,936																																																																																																																																																																						
営業費用	16,724	1,063	16,787																																																																																																																																																																						
医療費用	15,527	1,063	16,590																																																																																																																																																																						
給与費	8,268	719	8,987																																																																																																																																																																						
材料費	1,427	30	1,457																																																																																																																																																																						
経費	2,724	307	3,031																																																																																																																																																																						
研究研修費	108	7	115																																																																																																																																																																						
一般管理費	197		197																																																																																																																																																																						
営業外費用	345	16	361																																																																																																																																																																						
臨時損失	0	0	0																																																																																																																																																																						
資本支出	2,665	123	2,788																																																																																																																																																																						
施設改良費	687	17	704																																																																																																																																																																						
長期借入金返済金	1,972	106	2,078																																																																																																																																																																						
奨学金貸付	5		5																																																																																																																																																																						
その他	1	0	1																																																																																																																																																																						
区分	予算額 (当分)	決算額	差額 決算-予算																																																																																																																																																																						
収入	20,772	22,097	1,325																																																																																																																																																																						
営業収益	17,762	19,122	1,360																																																																																																																																																																						
営業収入	17,157	18,557	1,380																																																																																																																																																																						
運営費負担金	605	565	△20																																																																																																																																																																						
営業外収益	1,095	1,106	11																																																																																																																																																																						
運営費負担金等	924	912	△12																																																																																																																																																																						
その他	171	184	23																																																																																																																																																																						
資本収入	1,913	1,865	△48																																																																																																																																																																						
借付金の収入	1,235	1,236	1																																																																																																																																																																						
長期借入金	678	629	△49																																																																																																																																																																						
その他の収入	2	5	3																																																																																																																																																																						
(注1) 施設改良費及び長期借入金等元金償還金に充当される運営費負担金等については、資本助成のための運営費負担金等とする。(以下、同じ)				(単位:百万円)																																																																																																																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>日本海</th> <th>酒田</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>17,737</td> <td>1,087</td> <td>18,824</td> </tr> <tr> <td>営業収益</td> <td>16,743</td> <td>993</td> <td>17,736</td> </tr> <tr> <td>  医療収益</td> <td>16,150</td> <td>975</td> <td>17,125</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金収益</td> <td>588</td> <td>17</td> <td>605</td> </tr> <tr> <td>  病院収入等収益の収入</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>992</td> <td>91</td> <td>1,086</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金収益</td> <td>839</td> <td>85</td> <td>924</td> </tr> <tr> <td>  その他営業収益</td> <td>153</td> <td>9</td> <td>162</td> </tr> <tr> <td>臨時利益</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>17,592</td> <td>1,197</td> <td>18,789</td> </tr> <tr> <td>営業費用</td> <td>16,707</td> <td>1,156</td> <td>17,863</td> </tr> <tr> <td>  医療費用</td> <td>16,523</td> <td>1,156</td> <td>17,679</td> </tr> <tr> <td>  一般管理費</td> <td>184</td> <td></td> <td>184</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>875</td> <td>40</td> <td>915</td> </tr> <tr> <td>臨時損失</td> <td>10</td> <td>1</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>純利益</td> <td>145</td> <td>△110</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table>				区分	日本海	酒田	合計	収入	17,737	1,087	18,824	営業収益	16,743	993	17,736	医療収益	16,150	975	17,125	運営費負担金収益	588	17	605	病院収入等収益の収入	5	1	6	営業外収益	992	91	1,086	運営費負担金収益	839	85	924	その他営業収益	153	9	162	臨時利益	2	0	2	支出	17,592	1,197	18,789	営業費用	16,707	1,156	17,863	医療費用	16,523	1,156	17,679	一般管理費	184		184	営業外費用	875	40	915	臨時損失	10	1	11	純利益	145	△110	35	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額 (当初)</th> <th>決算額</th> <th>差額 決算-予算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>18,824</td> <td>20,226</td> <td>1,402</td> </tr> <tr> <td>営業収益</td> <td>17,736</td> <td>19,103</td> <td>1,367</td> </tr> <tr> <td>  営業収益</td> <td>17,125</td> <td>18,508</td> <td>1,383</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金収益</td> <td>605</td> <td>565</td> <td>△20</td> </tr> <tr> <td>  病院収入等収益の収入</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>1,086</td> <td>1,099</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金等</td> <td>924</td> <td>912</td> <td>△12</td> </tr> <tr> <td>  その他営業収益</td> <td>162</td> <td>186</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>その他の収入</td> <td>2</td> <td>23</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>18,789</td> <td>19,416</td> <td>627</td> </tr> <tr> <td>営業費用</td> <td>17,863</td> <td>18,377</td> <td>514</td> </tr> <tr> <td>  医療費用</td> <td>17,679</td> <td>18,205</td> <td>526</td> </tr> <tr> <td>  一般管理費</td> <td>184</td> <td>172</td> <td>△12</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>915</td> <td>966</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>その他の支出</td> <td>11</td> <td>73</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>純利益</td> <td>35</td> <td>810</td> <td>775</td> </tr> </tbody> </table>				区分	予算額 (当初)	決算額	差額 決算-予算	収入	18,824	20,226	1,402	営業収益	17,736	19,103	1,367	営業収益	17,125	18,508	1,383	運営費負担金収益	605	565	△20	病院収入等収益の収入	6	10	4	営業外収益	1,086	1,099	12	運営費負担金等	924	912	△12	その他営業収益	162	186	24	その他の収入	2	23	21	支出	18,789	19,416	627	営業費用	17,863	18,377	514	医療費用	17,679	18,205	526	一般管理費	184	172	△12	営業外費用	915	966	51	その他の支出	11	73	62	純利益	35	810	775																										
区分	日本海	酒田	合計																																																																																																																																																																						
収入	17,737	1,087	18,824																																																																																																																																																																						
営業収益	16,743	993	17,736																																																																																																																																																																						
医療収益	16,150	975	17,125																																																																																																																																																																						
運営費負担金収益	588	17	605																																																																																																																																																																						
病院収入等収益の収入	5	1	6																																																																																																																																																																						
営業外収益	992	91	1,086																																																																																																																																																																						
運営費負担金収益	839	85	924																																																																																																																																																																						
その他営業収益	153	9	162																																																																																																																																																																						
臨時利益	2	0	2																																																																																																																																																																						
支出	17,592	1,197	18,789																																																																																																																																																																						
営業費用	16,707	1,156	17,863																																																																																																																																																																						
医療費用	16,523	1,156	17,679																																																																																																																																																																						
一般管理費	184		184																																																																																																																																																																						
営業外費用	875	40	915																																																																																																																																																																						
臨時損失	10	1	11																																																																																																																																																																						
純利益	145	△110	35																																																																																																																																																																						
区分	予算額 (当初)	決算額	差額 決算-予算																																																																																																																																																																						
収入	18,824	20,226	1,402																																																																																																																																																																						
営業収益	17,736	19,103	1,367																																																																																																																																																																						
営業収益	17,125	18,508	1,383																																																																																																																																																																						
運営費負担金収益	605	565	△20																																																																																																																																																																						
病院収入等収益の収入	6	10	4																																																																																																																																																																						
営業外収益	1,086	1,099	12																																																																																																																																																																						
運営費負担金等	924	912	△12																																																																																																																																																																						
その他営業収益	162	186	24																																																																																																																																																																						
その他の収入	2	23	21																																																																																																																																																																						
支出	18,789	19,416	627																																																																																																																																																																						
営業費用	17,863	18,377	514																																																																																																																																																																						
医療費用	17,679	18,205	526																																																																																																																																																																						
一般管理費	184	172	△12																																																																																																																																																																						
営業外費用	915	966	51																																																																																																																																																																						
その他の支出	11	73	62																																																																																																																																																																						
純利益	35	810	775																																																																																																																																																																						
(注) 借付金にのみ処理をしているため、会計種が一貫しない項目がある。																																																																																																																																																																									
<b>(3) 収支計画(平成27年度)</b>				<b>(4) 収支計画</b>																																																																																																																																																																					
(単位:百万円)				(単位:百万円)																																																																																																																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>日本海</th> <th>酒田</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>17,737</td> <td>1,087</td> <td>18,824</td> </tr> <tr> <td>営業収益</td> <td>16,743</td> <td>993</td> <td>17,736</td> </tr> <tr> <td>  医療収益</td> <td>16,150</td> <td>975</td> <td>17,125</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金収益</td> <td>588</td> <td>17</td> <td>605</td> </tr> <tr> <td>  病院収入等収益の収入</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>992</td> <td>91</td> <td>1,086</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金収益</td> <td>839</td> <td>85</td> <td>924</td> </tr> <tr> <td>  その他営業収益</td> <td>153</td> <td>9</td> <td>162</td> </tr> <tr> <td>臨時利益</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>17,592</td> <td>1,197</td> <td>18,789</td> </tr> <tr> <td>営業費用</td> <td>16,707</td> <td>1,156</td> <td>17,863</td> </tr> <tr> <td>  医療費用</td> <td>16,523</td> <td>1,156</td> <td>17,679</td> </tr> <tr> <td>  一般管理費</td> <td>184</td> <td></td> <td>184</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>875</td> <td>40</td> <td>915</td> </tr> <tr> <td>臨時損失</td> <td>10</td> <td>1</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>純利益</td> <td>145</td> <td>△110</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table>				区分	日本海	酒田	合計	収入	17,737	1,087	18,824	営業収益	16,743	993	17,736	医療収益	16,150	975	17,125	運営費負担金収益	588	17	605	病院収入等収益の収入	5	1	6	営業外収益	992	91	1,086	運営費負担金収益	839	85	924	その他営業収益	153	9	162	臨時利益	2	0	2	支出	17,592	1,197	18,789	営業費用	16,707	1,156	17,863	医療費用	16,523	1,156	17,679	一般管理費	184		184	営業外費用	875	40	915	臨時損失	10	1	11	純利益	145	△110	35	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額 (当初)</th> <th>決算額</th> <th>差額 決算-予算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>18,824</td> <td>20,226</td> <td>1,402</td> </tr> <tr> <td>営業収益</td> <td>17,736</td> <td>19,103</td> <td>1,367</td> </tr> <tr> <td>  営業収益</td> <td>17,125</td> <td>18,508</td> <td>1,383</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金収益</td> <td>605</td> <td>565</td> <td>△20</td> </tr> <tr> <td>  病院収入等収益の収入</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>1,086</td> <td>1,099</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金等</td> <td>924</td> <td>912</td> <td>△12</td> </tr> <tr> <td>  その他営業収益</td> <td>162</td> <td>186</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>その他の収入</td> <td>2</td> <td>23</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>18,789</td> <td>19,416</td> <td>627</td> </tr> <tr> <td>営業費用</td> <td>17,863</td> <td>18,377</td> <td>514</td> </tr> <tr> <td>  医療費用</td> <td>17,679</td> <td>18,205</td> <td>526</td> </tr> <tr> <td>  一般管理費</td> <td>184</td> <td>172</td> <td>△12</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>915</td> <td>966</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>その他の支出</td> <td>11</td> <td>73</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>純利益</td> <td>35</td> <td>810</td> <td>775</td> </tr> </tbody> </table>				区分	予算額 (当初)	決算額	差額 決算-予算	収入	18,824	20,226	1,402	営業収益	17,736	19,103	1,367	営業収益	17,125	18,508	1,383	運営費負担金収益	605	565	△20	病院収入等収益の収入	6	10	4	営業外収益	1,086	1,099	12	運営費負担金等	924	912	△12	その他営業収益	162	186	24	その他の収入	2	23	21	支出	18,789	19,416	627	営業費用	17,863	18,377	514	医療費用	17,679	18,205	526	一般管理費	184	172	△12	営業外費用	915	966	51	その他の支出	11	73	62	純利益	35	810	775																										
区分	日本海	酒田	合計																																																																																																																																																																						
収入	17,737	1,087	18,824																																																																																																																																																																						
営業収益	16,743	993	17,736																																																																																																																																																																						
医療収益	16,150	975	17,125																																																																																																																																																																						
運営費負担金収益	588	17	605																																																																																																																																																																						
病院収入等収益の収入	5	1	6																																																																																																																																																																						
営業外収益	992	91	1,086																																																																																																																																																																						
運営費負担金収益	839	85	924																																																																																																																																																																						
その他営業収益	153	9	162																																																																																																																																																																						
臨時利益	2	0	2																																																																																																																																																																						
支出	17,592	1,197	18,789																																																																																																																																																																						
営業費用	16,707	1,156	17,863																																																																																																																																																																						
医療費用	16,523	1,156	17,679																																																																																																																																																																						
一般管理費	184		184																																																																																																																																																																						
営業外費用	875	40	915																																																																																																																																																																						
臨時損失	10	1	11																																																																																																																																																																						
純利益	145	△110	35																																																																																																																																																																						
区分	予算額 (当初)	決算額	差額 決算-予算																																																																																																																																																																						
収入	18,824	20,226	1,402																																																																																																																																																																						
営業収益	17,736	19,103	1,367																																																																																																																																																																						
営業収益	17,125	18,508	1,383																																																																																																																																																																						
運営費負担金収益	605	565	△20																																																																																																																																																																						
病院収入等収益の収入	6	10	4																																																																																																																																																																						
営業外収益	1,086	1,099	12																																																																																																																																																																						
運営費負担金等	924	912	△12																																																																																																																																																																						
その他営業収益	162	186	24																																																																																																																																																																						
その他の収入	2	23	21																																																																																																																																																																						
支出	18,789	19,416	627																																																																																																																																																																						
営業費用	17,863	18,377	514																																																																																																																																																																						
医療費用	17,679	18,205	526																																																																																																																																																																						
一般管理費	184	172	△12																																																																																																																																																																						
営業外費用	915	966	51																																																																																																																																																																						
その他の支出	11	73	62																																																																																																																																																																						
純利益	35	810	775																																																																																																																																																																						

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成27年度・年度計画				平成27年度・年度実績				評価の視点		判定	自己評定	判定	委員会評定及び意見等
<b>(4) 資金計画 (平成27年度)</b>				<b>(5) 資金計画</b>									
(単位：百万円)				(単位：百万円)									
区分	日本酒	酒田	合計	区 分	単価割 計 画 値	決算額	差 割 決算-予算						
資金収入	25,429	2,508	27,937	資金収入	27,947	27,826	△ 1,021						
営業活動による収入	17,807	1,888	19,695	契約売掛による収入	13,983	19,389	1,000						
診療業務による収入	16,181	977	17,158	設備売却による収入	17,158	16,249	△ 1,000						
課外費負担金による収入	1,427	102	1,529	固定資産売却による収入	1,529	1,497	△ 32						
補助金等収入	38	0	38	雑収入等収入	38	32	△ 6						
その他の営業活動による収入	161	9	170	その他の契約売掛による収入	170	170	△ 40						
投資活動による収入	12,525	1,400	13,925	受取利息による収入	13,925	6,328	△ 7,000						
補助金等収入	25	0	25	雑収入等収入	25	25	0						
有価証券の売却による収入	12,500	1,000	13,500	お取引先の売却による収入	13,500	4,000	△ 9,000						
財務活動による収入	1,831	82	1,913	お取引先の売却による収入	0	2,000	2,000						
長期借入による収入	663	15	678	その他の受取利息による収入	0	0	0						
金銭出貸の貸入による収入	1,168	67	1,235	少額当座による収入	1,313	1,065	△ 40						
前年度からの繰越金	2,976	338	3,314	長期借入による収入	678	679	△ 40						
資金支出	31,230	2,232	33,462	金銭出貸の貸入による収入	1,235	1,236	1						
営業活動による支出	16,661	1,199	17,860	前年度からの繰越金	3,314	3,539	225						
人件費支出	8,334	719	9,053	資金支出	33,462	27,603	△ 5,859						
材料費支出	4,427	30	4,457	契約売掛による支出	17,170	17,264	94						
その他の営業活動による支出	3,900	360	4,260	給与費支出	9,253	9,135	△ 118						
投資活動による支出	13,192	1,017	14,209	材料費支出	4,427	5,072	645						
有形固定資産の取得による支出	687	17	704	その他の契約売掛による支出	3,863	3,087	△ 776						
有価証券の取得による支出	12,500	1,000	13,500	受取利息による支出	14,269	9,269	△ 5,040						
貸付金の貸付による支出	5	5	10	お取引先買入の取引による支出	204	784	△ 580						
財務活動による支出	1,977	106	2,083	お取引先の取引による支出	13,800	4,500	△ 8,500						
長期借入の返済による支出	894	21	915	支払利息の支出による支出	0	3,900	3,900						
銀行借入の返済等による支出	1,128	85	1,213	その他の投資活動による支出	5	6	1						
その他の財務活動による支出	5	0	5	少額当座による支出	2,063	2,039	△ 4						
前年度からの繰越金	3,969	276	4,245	長期借入の返済による支出	893	899	6						
				銀行借入の返済等による支出	1,213	1,213	0						
				繰上り地方債償還確保の 償還による支出	5	0	△ 5						
				その他の財務活動による支出	5	0	△ 5						
				前年度からの繰越金	4,158	4,223	65						

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成27年度・年度計画	平成27年度・年度実績	評価の視点	判定	自己評価	判定	委員会評価及び意見等																									
<b>5 その他業務運営に関する事項</b>																															
<b>(1) 就労環境の整備</b>																															
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あきほ保育園」は、通年で24時間保育を行う。</li> <li>・「あきほ保育園」は病児・病後児保育を継続し、職員の子育て支援を行う。</li> </ul>	<p>○「あきほ保育園」では、年末・年始（12月29日から1月3日）を除き、24時間保育を実施した。</p> <p>○病児・病後児保育事業を引続き酒田市から受託し、当該事業を活用し職員の子育て支援を行った。</p> <table border="1"> <caption>【実績】病児・病後児保育事業延べ利用者数</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ利用者数（再掲）</td> <td>304名</td> <td>233名</td> <td>291名</td> <td>263名</td> </tr> <tr> <td>うち延長利用者数</td> <td>(95名)</td> <td>(104名)</td> <td>(105名)</td> <td>(96名)</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	H27	延べ利用者数（再掲）	304名	233名	291名	263名	うち延長利用者数	(95名)	(104名)	(105名)	(96名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇24時間保育の実施など、職員の就労環境の向上に取組んだか。</li> <li>◇病児・病後児保育を継続し、職員の子育て支援を行ったか。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>▽年末・年始の休所日を除き、24時間保育を実施し、職員の就労環境向上に取組んだ。</li> <li>▽就労環境の向上を図るため、病児・病後児保育を継続して実施した。96名の職員利用実績があり、職員の子育て支援に寄与した。</li> </ul>	A	自己評価のとおり										
	H24	H25	H26	H27																											
延べ利用者数（再掲）	304名	233名	291名	263名																											
うち延長利用者数	(95名)	(104名)	(105名)	(96名)																											
<b>(2) 人間ドック・検診における連携</b>																															
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益財団法人やまがた健康推進機構と連携し、日本海総合病院において「内視鏡ドック（PET検診含む）」を行う。</li> </ul>	<p>○日本海総合病院では、酒田市が実施した「内視鏡ドック（PET検診含む）」のうち上・下部内視鏡、胸部CT及びPET/CTを継続して担った。</p> <table border="1"> <caption>【実績】内視鏡ドックの実績</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上部内視鏡</td> <td>138件</td> <td>143件</td> <td>142件</td> <td>122件</td> </tr> <tr> <td>下部内視鏡</td> <td>138件</td> <td>143件</td> <td>142件</td> <td>121件</td> </tr> <tr> <td>胸部CT</td> <td>139件</td> <td>143件</td> <td>142件</td> <td>123件</td> </tr> <tr> <td>PET/CT（再掲）</td> <td>-</td> <td>105件</td> <td>49件</td> <td>52件</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	H27	上部内視鏡	138件	143件	142件	122件	下部内視鏡	138件	143件	142件	121件	胸部CT	139件	143件	142件	123件	PET/CT（再掲）	-	105件	49件	52件	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇公益財団法人やまがた健康推進機構と連携し、「内視鏡ドック（PET検診含む）」を実施したか。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>▽公益財団法人やまがた健康推進機構と連携し、「内視鏡ドック（PET検診含む）」を実施した。PET/CT検診は件数が増加したものの、上・下部内視鏡及び胸部CTは、件数が減少した。</li> </ul>	B	自己評価のとおり
	H24	H25	H26	H27																											
上部内視鏡	138件	143件	142件	122件																											
下部内視鏡	138件	143件	142件	121件																											
胸部CT	139件	143件	142件	123件																											
PET/CT（再掲）	-	105件	49件	52件																											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・酒田地区医師会と連携し、地域の検診体制の強化を図る。</li> </ul>	<p>○酒田地区医師会及び公益財団法人やまがた健康推進機構と役割分担を行いながら、連携して地域住民の検診を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇酒田地区医師会及び公益財団法人やまがた健康推進機構と役割分担、連携して検診を行ったか。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>▽酒田地区医師会及び公益財団法人やまがた健康推進機構を主体として、地域の検診体制の確立を図ってきた。日本海総合病院では、主に乳がん検診、子宮がん検診、酒田市の「内視鏡ドック」及び二次検診を担当している。</li> </ul>	A	自己評価のとおり																									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・酒田市にふるさと納税された方への特典として、日本海総合病院の人間ドックを提供することについて、酒田市と協議を行う。</li> </ul>	<p>○日本海総合病院は、酒田市へのふるさと納税の特典として、納税額に応じた3つの健診コースを設定し人間ドックを実施した。</p> <table border="1"> <caption>【実績】</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>内容</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20万円コース</td> <td>PET/CT（半日）</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>30万円コース</td> <td>1泊2日</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>50万円コース</td> <td>2泊3日</td> <td>2名</td> </tr> </tbody> </table>		内容	利用者数	20万円コース	PET/CT（半日）	10名	30万円コース	1泊2日	0名	50万円コース	2泊3日	2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇人間ドックを酒田市ふるさと納税の特典とすることについて、酒田市と協議を行ったか。</li> </ul>	S	<ul style="list-style-type: none"> <li>▽ふるさと納税額に応じた3つの検診コースを設定し、実施することができた。想定以上の申込があり、PET/CTの稼働率の向上にも寄与した。</li> </ul>	S	自己評価のとおり													
	内容	利用者数																													
20万円コース	PET/CT（半日）	10名																													
30万円コース	1泊2日	0名																													
50万円コース	2泊3日	2名																													
<b>(3) 地球環境にやさしい病院づくり</b>																															
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本海総合病院において、既存棟の外來診察室及び待合ホールの蛍光灯をLED照明に交換する。</li> </ul>	<p>○日本海総合病院において、既存棟の外來・リハビリ・管理部門及び共用部を中心に、蛍光灯2,238本をLED照明に更新した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇継続して、LED照明への更新を推進したか。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>▽LED照明への更新を継続し、これまでに既存棟の蛍光灯のほぼ100%をLED照明に更新した。CO2排出削減など、地球環境に配慮している。</li> </ul>	A	自己評価のとおり																									
<b>(4) 酒田市飛鳥診療所への支援</b>																															
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本海総合病院は、酒田市が医師を確保するまでの間、4～10月において医師を週1回派遣し出張診療を行う。また、救急患者の対応等の支援を行う。</li> </ul>	<p>○日本海総合病院は、4～10月までの間、週1回、延17名の医師を派遣するとともに、飛鳥診療所の救急患者対応を支援し、2名の患者をドクターヘリで受入れた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇医師を派遣し、出張診療を行ったか。</li> <li>◇救急患者の対応について、支援を行ったか。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>▽定期航路が欠航した週を除き、週1回医師を派遣し、出張診療を行った。</li> <li>▽日本海総合病院救命救急センターと酒田市飛鳥診療所、ドクターヘリとの連携により、スムーズに救急患者の対応を行うことができた。</li> </ul>	A	自己評価のとおり																									
<b>(5) その他</b>																															
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二期中期計画の最終年度にあたり、次期中期計画については、将来の医療提供体制を見据えて、設立団体と協議を行いながら策定する。</li> <li>・平成19年度に策定された基本構想について、山形県の地域医療構想策定作業の動向や地域医療の状況を踏まえ、必要に応じて再検討する。</li> </ul>	<p>○設立団体と協議を行いながら、第3期中期計画を策定した。また、基本構想等の再検討については、山形県の地域医療構想策定作業の動向や地域医療の動向を踏まえ、必要に応じて検討を行うこととした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇第3期中期計画を策定したか。</li> <li>◇地域医療構想策定状況等を踏まえ、基本構想について再検討を行ったか。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>▽新公立病院改革ガイドラインに基づく、新改革プランの内容を踏まえ、中期計画を策定した。</li> <li>▽基本構想については、地域医療構想及び同調整会議の決定事項と齟齬が生じないう、策定作業の動向に合わせ、必要に応じて検討を行うこととした。</li> </ul>	A	自己評価のとおり																									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「全国地方独立行政法人病院協議会」の第4回総会を酒田市で開催し、全国の会員病院と情報交換を行うとともに連携を図る。</li> </ul>	<p>○平成27年11月6日（金）ホテルリッチ&amp;ガーデン酒田において第4回全国地方独立行政法人病院協議会総会を開催し、全国の会員病院と情報交換を行った（参加人数168名）。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇第4回総会開催の目的を達成したか。</li> </ul>	S	<ul style="list-style-type: none"> <li>▽参加者が共通の課題と向き合い、実りある意見交換の場となることを念頭に準備した結果、前回（東京都）実績を大幅に上回る参加があり、また、総会開催後の参加者へのアンケート調査で、回答者全員から「満足」との高い評価をいただいた。</li> </ul>	S	自己評価のとおり																									

第2期中期目標期間の評価の推移

平成27年度計画			平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度				
評価項目			自己判定	判定	自己判定	判定	自己判定	判定	自己判定	判定			
1 診療計画及び診療に関する重点事項	(1)診療計画	①日本海総合病院の体制	S	S	S	S	S	S	A	S			
		②酒田医療センターの体制	A	A	A	A	A	A	A	A	A		
	(2)診療に関する重点事項	①診療体制の整備	a)救急医療	・救急科専門医の育成	A	A	A	A	A	A	B	B	
				・酒田救急ワークステーションとの連携強化、ドクターカーの検討	A	A	A	A	A	A	A	A	A
				・酒田地区医師会の協力による平日夜間の成人、小児の診療体制の維持	A	S	S	S	S	S	S	S	S
		b)がん医療	・地域がん連携拠点病院としての機能充実、「がんリハビリテーション」の導入検討	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
			・PET/CT運用開始によるがん診療の強化、健診の拡充	A	A	A	A	A	A	A	B	A	
			・手術、放射線療法、化学療法を効果的に組み合わせた治療の実施	A	A	A	A	A	A	A	A	A	
			・緩和ケア医療の充実	A	A	A	A	A	A	A	A	A	
			・緩和ケア病棟の要件確認、検討	A	A	A	A	-	-	-	-	-	
			・セカンドオピニオン外来の充実	A	A	A	A	A	A	A	A	A	
			・がん登録機能、相談支援体制の充実	A	A	A	A	A	A	A	A	A	
		c)脳卒中・心筋梗塞	・救命救急センターと関係する診療科、リハビリ部門との連携強化	A	A	A	A	A	A	A	A	A	
			・CT、MRI検査の24時間対応の継続	A	A	A	A	A	A	A	A	A	
			・日本海総合病院の急性期リハビリと酒田医療センターの回復期リハビリの連携強化	A	A	A	A	A	A	A	A	A	
	・日本海総合病院において、心大血管リハビリテーションを休日も実施		A	A	S	S	-	-	-	-	-		
	d)糖尿病	・チーム医療による食事療法等を組み合わせた教育入院等の集中的治療の充実	A	A	A	A	A	A	A	A	A		
	e)回復期リハビリテーション	・回復期リハビリテーション機能の充実のため、理学療法士等を増員	A	A	A	A	A	A	A	A	A		
		・休日リハビリテーション提供体制の構築	S	S	-	-	-	-	-	-	-		
		・外来及び通所リハビリテーションの充実	A	A	S	S	S	S	B	B	B		
	f)在宅医療支援及び療養支援	・地域の介護、福祉、医療機関との連携強化のための窓口・相談機能の充実	A	A	A	A	A	A	A	A	A		
		・在宅患者、介護、福祉機関の患者に対し、かかりつけ医と連携して医療支援を実施	A	A	A	A	A	A	A	A	A		
		・訪問看護ステーション「スワン」、在宅医療・介護連携支援室「ポンテ」との連携強化	A	A	A	A	A	A	A	A	A		
	g)その他	・2病院間を運行する患者移動用シャトルバス「げんき号」の運行	A	A	A	A	B	A	A	A	A		
	②災害時や健康危機における医療協力	・災害拠点病院として、災害時の患者受入れ、県の要請等に基づくDMAT等の派遣	A	A	A	A	A	A	A	A	A		
		・地域が被災した場合に備えて、酒田市総合防災訓練に参加	A	A	A	A	A	A	-	-	-		
		・SCUの機能整備への協力として、医療機器の保管管理及び医療救護活動等に協力	A	A	A	A	-	-	-	-	-		
・災害発生に備えたマニュアル整備、災害実動訓練の実施及び災害医療研修の実施		A	A	A	A	A	A	S	S	S			
・災害対応に必要な物品等を備蓄		A	A	A	A	A	A	A	A	A			
・燃料、医薬品等の優先納入体制の維持		A	A	A	A	A	A	A	A	A			
・新型インフルエンザ等、新たな感染症が発生した場合は、山形県と連携して対応		A	A	A	A	A	A	A	A	A			
・院内感染マニュアルの見直し、速やかな感染症患者の受入		A	A	A	A	A	A	A	A	A			
③政策医療の実施	・認知症疾患医療センターを運営し、専門医療相談、鑑別診断等を継続して実施	A	A	A	A	A	A	A	A	A			
	・臓器移植について、提供施設として訓練実施	S	A	B	B	A	A	-	-	-			
	・地域小児医療センターとしての役割を果たす	A	S	S	S	-	-	-	-	-			
	・周産期に係る比較的高度な二次周産期医療を実施	A	A	A	A	-	-	-	-	-			
	・スチューデントドクターの受入れ、臨床研修医及びレジデント受入れ拡大に努め、教育研修体制を充実	S	S	S	S	S	S	S	S	S			
④医療スタッフの確保及び資質向上	a)医療人材の確保・育成	・地独)那覇市立病院との間で、交換地域医療研修を実施	A	A	A	A	-	-	-	-			
		・医療スタッフを育成するため、専門学校等の要請に基づき、実習生を受入れ	A	A	A	A	-	-	-	-			
		・医療スタッフについて、各種研修会及び学会等への参加による、専門知識と技術の習得	A	A	S	A	A	A	A	A	A		
		・認定看護師資格取得のため、研修に派遣	A	A	A	S	A	A	A	A	A		
		・DMAT隊員の育成	A	A	A	A	-	-	-	-	-		

第2期中期目標期間の評価の推移

平成27年度計画					平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
評価項目					自己判定	判定	自己判定	判定	自己判定	判定	自己判定	判定	
1 診療計画及び診療に関する重点事項	(2)診療に関する重点事項	④医療スタッフの確保及び資質向上	a)医療人材の確保・育成	・チーム医療の推進	A	A	S	S	-	-	-	-	
				・修学資金の貸与による、優秀な看護師又は助産師の育成	S	S	S	S	-	-	-	-	
			b)事務職員の確保と専門性の向上	・法人内研修の充実、他病院との合同研修会等	A	A	A	A	A	A	A	A	
				・医療事務作業補助者の資質向上	A	A	A	A	A	A	A	A	
			⑤医療サービスの効果的な提供	a)地域連携の推進	・地域医療支援病院としての役割を果たし、他の医療機関との役割分担、連携強化	S	S	S	S	S	S	S	S
				・医療から介護、福祉へと切れ目のないサービスの提供に努める	A	A	A	A	A	A	A	A	
			b)ITネットワークの活用	・ちようかいネット利用医療機関等の拡大	S	S	S	S	S	S	A	S	
			c)地域連携クリティカルパスの活用	・地域連携クリティカルパス適用件数の増加	A	A	A	A	A	A	A	A	
			⑥庄内地域における医療水準の向上		・庄内地域の他の医療機関との交流を行い連携強化を図る	A	A	A	A	A	A	A	A
					・山形大学医学部先端分子疫学研究所酒田分室について、調査活動に協力	A	A	A	A	A	A	A	A
				・酒田看護専門学校の実習施設としての役割を担う	A	A	S	A	S	S	A	A	
				・酒田看護専門学校の看護教員の養成	A	A	B	A	A	A	A	A	
				・地域の医療、介護従事者を含めた各種研修会等の開催	A	A	A	A	-	-	-	-	
			⑦住民の意識の啓発	・セミナー、病院広報などによる、住民の医療や健康に対する意識の啓発	A	A	A	A	A	A	A	A	
				・他の機関が行う地域の医療従事者や住民等に対するセミナー等への講師派遣	A	A	A	A	A	A	A	A	
	(3)患者・住民サービスの一層の向上		・日本海総合病院において、外来診療待ち時間対策を検討	S	S	A	A	A	A	B	B		
			・患者、利用者の意見、要望を聞く投書箱を常設し、患者及び住民本位のサービス提供に努める	A	A	A	A	A	A	A	A		
			・ホームページの充実による病院情報の発信力の強化	A	A	A	A	A	A	A	A		
			・外来診察室ドアの改修及び待合ホールの床補修	A	A	A	A	A	A	A	A		
			・重症心身障がい児(者)短期入所事業の継続実施	A	A	A	A	A	A	A	A		
			・病児・病後児保育事業の委託及び酒田市以外の乳幼児の受入	A	A	A	A	A	A	A	A		
			・地域交流事業「あきほ祭り」、即売施設「あきほ市」の開催	A	A	A	A	A	A	-	-		
	(4)法令等の遵守と情報公開の推進		・基本理念、倫理綱領及び病院運営方針の周知	A	A	A	A	A	A	A	A		
			・医療情報セキュリティ向上のための研修会実施	B	B	B	C	B	B	A	A		
			・インフォームド・コンセントの徹底、カルテレセプト等医療情報開示時の個人情報保護	A	A	A	A	A	A	A	A		
	(5)医療安全対策の充実・強化		・患者安全管理体制の推進・強化	A	A	A	A	A	A	A	A		
2 人員配置の弾力的運用	(1)負担軽減		・医師事務作業補助者の活用	A	A	A	A	A	A	S	S		
			・看護補助者、事務補助者の活用	A	A	A	A	A	A	-	-		
			・病棟看護師について、新たな交代勤務の検討	A	A	-	-	-	-	-	-		
	(2)障がい者雇用		・障がい者の雇用促進、職業安定に寄与し、その有効活用を図る	A	A	B	A	B	B	-	-		
3 施設整備及び医療機器等の整備計画	(1)高度用機器の計画的な更新・整備		・高度医療機器の更新・整備	A	A	A	A	A	A	A	A		
	(2)建物診断		・建物総合診断の結果を踏まえ、修繕計画を検討	A	A	A	A	-	-	-	-		
4 患者数の見込みと予算・収支計画・資金計画				S	S	S	S	S	S	S	S		
5 その他業務運営に関する事項	(1)就労環境の整備		・あきほ保育園は通年で24時間保育を行う	A	A	A	A	A	A	S	S		
			・あきほ保育園は病児・病後児保育を継続し、職員の子育て支援を実施	A	A	A	A	A	A	A	A		
	(2)人間ドック・健診における連携		・やまがた健康推進機構と連携し、内視鏡ドック(PET検診を含む)を実施	B	B	B	B	-	-	-	-		
			・酒田地区医師会と連携し地域の診療体制の強化を図る	A	A	A	A	A	A	-	-		
			・ふるさと納税された方への特典として、人間ドックを提供することについて酒田市と協議を実施	S	S	-	-	-	-	-	-		
(3)地球環境にやさしい病院づくり		・既存棟の外来診察室及び待合ホールの蛍光灯をLED照明に交換	A	A	A	A	A	A	-	-			
(4)酒田市飛鳥診療所への支援		・医師派遣による出張診療、救急患者の対応等の支援	A	A	S	S	S	S	S	S			
(5)その他		・第3期中期計画の策定、必要に応じ、地域医療構想策定状況等を踏まえた基本構想の再検討	A	A	-	-	-	-	-	-			
		・全国地方独立行政法人病院協議会の第4回総会を酒田市で開催	S	S	-	-	-	-	-	-			